

防災行政無線三芳中継局解体工事

図 面 リ ス ト			
Vol.	図 面 タ イ ト ル	Vol.	図 面 タ イ ト ル
A000	表紙・図面リスト	A016	アンカーゲージ構造図
A001	特記仕様書 1	A017	鉄塔基礎詳細図
A002	特記仕様書 2	A018	局舎詳細図
A003	案内図	A019	発電機詳細図
A004	配置図	A020	局舎鋼材基礎詳細図
A005	鉄塔一般図	A021	局舎・発電機基礎詳細図
A006	鉄塔構造図 1	A022	電気ケーブルルート図（全体）
A007	鉄塔構造図 2	A023	電気ケーブルルート図 1
A008	鉄塔構造図 3	A024	電気ケーブルルート図 2
A009	鉄塔構造図 4	A025	電気ケーブルルート図 3
A010	鉄塔構造図 5	A026	外構図
A011	鉄塔構造図 6	A027	仮設参考図（配置図）
A012	鉄塔構造図 7	A028	仮設参考図（立面図）
A013	避雷設備詳細図		
A014	昇降用梯子・ラック構造図 1		
A015	昇降用梯子・ラック構造図 2		

〈 建築物解体工事特記仕様書 〉

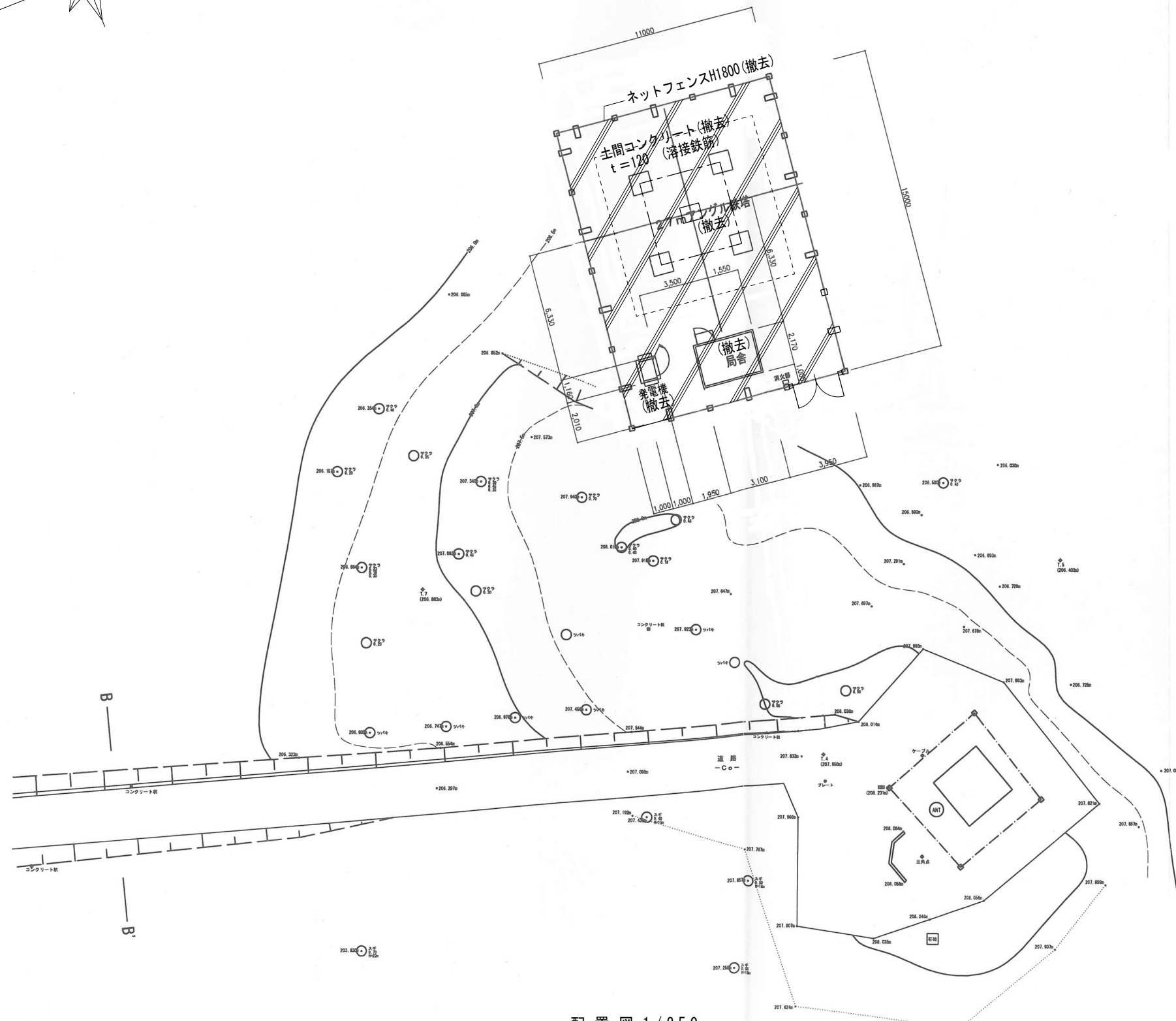
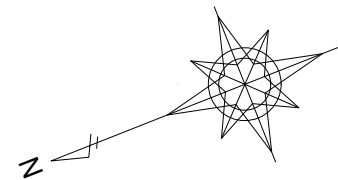
I	工 事 概 要			(3) 特定粉じん排出等作業(法定外建築物 作業を含む)は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施工する。 (4) 本工事で使用する軽油については、J I S規格軽油を使用すること。 (5) 受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督員の指示により協力しなければならない。	②	①. 仮囲い	○ 設ける (位置、延長等は図示) ○ 万能鋼板 (H= 3.0) ・ ガードフェンス (H= 1.5) ○ A型バリアード (必要に応じ設置) ・ 防音シート (H=) ・ パネルゲート (W= H=) × 箇所 ○ シートゲート (W= 6.0 H= 4.5) × 1 箇所 ・ 門扉 (W=4.0 H=1.5) × 1箇所 ・ 設けない
	1 工 事 名 称	防災行政無線三芳中継局解体工事		※ 工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1. 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 2. さし枠装着車、不表示車に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3. 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5. 建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。		2. 騒音、防塵等の対策	※ 設ける (適用範囲、高さ等は図示) ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 設けない
	2 工 事 場 所	南房総市海老敷549番地				③. 交通誘導員	○ 配置する (30日 × 1人 = 30人日) 配置場所 ○図示 ・ () ・ 配置しない
	3 主 要 用 途	防災行政無線中継局				4. 監督職員事務所	・ 設ける ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する (規模 m程度) ・ 備え付ける備品 () ※ 設けない
	4 敷 地 面 積	ー				⑤. 工事表示板	○ 工事表示板 1 枚 ○ 通行規制箇所表示板 3 枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。
5 工 事 の 概 要	局舎：プレハブ造平屋建 延べ面積 約5.9㎡ 解体撤去 電波塔：鉄骨造 アングル鉄塔(約18.1t) 解体撤去 発電機：撤去 外構：ネットフェンスH1.8m 解体撤去 土間コンクリート 解体撤去 電柱・ハンドホール・電線：撤去				6. 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 (小メーターを設置) ・ 無償) ・ 利用できない	
II 建 築 工 事 仕 様					7. 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない	
1. 共通仕様					8. 工事用道路	※ 指定しない ○ 指定する (林道大学口上滝田線) (通行に支障のある土砂等の撤去は請負者が行う) ・ 砕石敷き (厚さ mm 幅 mm) L= m ・ 鋼板敷 (長さ6m 幅 1. 5m 厚さ22mm) 9 枚	
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの電気設備工事編及び機械設備工事編の工事標準仕様書を適用する。					9. 足場その他	内部足場 ・ 脚立、足場板等 ・ ローリングタワー 外部足場 ※ A種 ・ B種 ○ C種(ビル工用) ・ D種 養生シート ○ 設ける (○ 防災シートI類 ・ その他) ・ 設けない 材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 ・ E種 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。	
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。					⑩. その他	○ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ○ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ○ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ○ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。	
2. 特記仕様							
1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。							
3. 質疑							
1) 本工事の設計図書に関する質疑は、工事契約前に質疑応答書をもって確かめておくものとする。 2) 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上、法規上当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。							
4. 優先順位							
1) 本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。 1. 入札時質疑回答書 2. 特記仕様書 3. 設計図 4. 共通仕様書 5. 公共規格及これに準ずる規格							
章	項	目	特 記 事 項				
①	①. 一般事項	○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示 ・ 監督職員の指示による 軒 ○ 工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。 ○ 官公署への申請手続きは請負者が行うものとし、それに伴う費用は請負の負担とする。官公署に提出した書類の控え、もしくは写しを監督員に提出する。 ○ 建設リサイクル法に基づく届出等の義務がある場合は法に基づき、「説明書」を作成し、監督員の承諾を受けること。リサイクル計画書を提出後、速やかに「確認書」を作成し、発注者及び請負者で取り交わすものとする。					
		※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 (請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) ・ 適用しない					
		・ 適用する ※ 適用しない					
		②. 工事実績情報(CORINS)の登録					
		③. 電気保安技術者					
事	④. 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。					
	⑤. 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ・ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで					
項	⑥. 環境対策	(1) 請負者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と、円滑な工事施工を図ること。 請負者は、千葉県が運用を開始している環境マネジメントシステムの構成要素をなす「公共工事における環境影響の低減」を推進し達成するため、施工計画書の“環境対策”内に独立した項目として「環境に配慮した工事の実施計画」について記載するものとする。 「実施計画書」には次の内容を記載すること。 ○ 騒音、振動対策 ・ 大気汚染対策 ・ 水質汚濁対策 ・ 地盤沈下対策 ○ 防塵対策 ○ 一般廃棄物対策 ○ 交通障害対策 ・ その他() (2) 建設機械は、排ガス対策車及び低騒音型を使用すること。					
			⑦. 過積載による違法運行の防止	※ 工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 1. 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 2. さし枠装着車、不表示車に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3. 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂の引き渡しを受けるなど、過積載を助長することのないようにすること。 4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5. 建設発生土の処理及び骨材等の購入にあたって、下請業者及び骨材等納入者の利益を不当に害することのないようにすること。 6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。			
			⑧. 工事現場管理	受注者は、工事の施工にあたっては、不法 違反無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。			
			⑨. 安全対策	1 受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 2 発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施行条件検討、安全点検等に協力すること。			
			⑩. 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署などへの必要な手続等は受注者が代行し、遅滞なく行う。			
			⑪. デジタル工事写真の小黑板情報電子化	※ デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以降「対象工事」と称する)とすることができる。対象工事では、以下の(1)から(4)の全てを実施することとする。 (1) 対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黑板の導入に必要な機器・ソフトウェア(以降、「使用機器」と称する)については、営繕工事写真撮影要領3. (3)撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト) (URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。なお、使用機器の事例として、URL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 (2) デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入 受注者は、同条(1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録しても良い。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、営繕工事写真撮影要領3. (3) 撮影方法による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。 (3) 小黑板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、同条(2)に示す小黑板情報の電子的記入については、営繕工事写真撮影要領4.で規定されている写真編集には該当しない。 (4) 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、同条(2)に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黑板情報電子化写真」と称する)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html」のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。			

工事名称 防災行政無線三芳中継局解体工事	図面名称 特記仕様書 1		NO. A001
	一級建築士事務所 〒1659100 東京都荒川区西日暮里5-10-1 T.A.P 株式会社 高橋建築計画 TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163	一級建築士事務所 第1-2504-3060号 一級建築士登録 高橋光洋 第1659100号	SCALE - DATE 2026.3.16



案 内 図

工事名称 防災行政無線三芳中継局解体工事		図面名称 案 内 図	NO. A003
TAP 株式会社 高橋建築計画 TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163		一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2504-3060号 一級建築士登録 第165910号 高橋光洋	SCALE ー DATE 2026.3.16



配置図 1/250

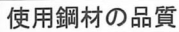
工事名称
防災行政無線三芳中継局解体工事

図面名称
配置図

NO.
A004

TAP 株式会社 高橋建築計画
TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163


一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2504-3060号	SCALE A2: 1/178 A3: 1/250
一級建築士登録 第165910号 高橋光洋	DATE 2026.3.16




鋼材

外観・形状・重量・寸法及び許容差はJIS G 3191、JIS G 3192、JIS G 3193、JIS G 3194の規定に合格するものとし、その他は下記による。				
鋼材種別	部材サイズ		JIS規格	備考
山形鋼	L100×10以下		JIS G 3101 S5400 規格品	図中“H”付
	HL120×8以上		JIS G 3101 S5540 規格品	
鋼板	PL16以下		JIS G 3101 S5400 規格品	図中に特記（ベースプレート、ウイングプレート）
	PL22, PL40		JIS G 3106 SM490A 規格品	
鋼管	φ60.5×3.2以上		JIS G 3444 STK400 規格品	
棒鋼	全サイズ		JIS G 3101 S5400 規格品	一般構造用圧延鋼材
平鋼	全サイズ		JIS G 3101 S5400 規格品	
エキスパンドメタル	XG-22		JIS G 3351 SPHC 規格品	

ボルト・ナット
座金

溶融亜鉛めっき高力ボルトのボルト・ナット・座金は、それぞれ JIS B 1186 の規定に合格するものとする。				
溶融亜鉛メッキ 高力ボルト	種 類		材 料 JIS 規 格	備 考
	六角ボルト 六角ナット	M16～M24	JIS B 1186 1種F8T相当品	図中に特記（  マークで表示）
			JIS B 1186 1種F35T相当品	
	平 座 金		JIS B 1186 1種F35T相当品	
普通ボルトのボルト・ナット・座金は、それぞれ JIS B 1180、JIS B 1181、JIS B 1251 の規定に合格するものとする。				
普通ボルト	六角ボルト	M12	JIS G 3507 4.6 規格品	スプリングワッシャー付(10割ナット)
		M16	JIS G 3101 5.8 規格品	
		M20	JIS G 3101 6.8 規格品	
アンカーボルト	六角ボルト 六角ナット	M36	JIS G 3138 SNR400B 規格品	JIS 1種ナット 5個、JIS 丸座金 1個付き
			JIS G 3101 S5400 規格品	

ボルトの標準配置

種 類	呼 径	緑 端 距 離			標 準		最 小		穴 径		備 考
		E1		E2	ビット	P	ビット		穴 径		
		標準	最小	最小			高力ボルト	普通ボルト	高力ボルト	普通ボルト	
ボルト	M12	25	18	18	50	-	30	-	13.5φ		
	M16	30	24	22	60	50	40	18.0φ	17.5φ		
	M20	35	30	26	70	55	50	22.0φ	21.5φ		
	M24	45	36	32	90	65	60	26.0φ	-		

注) 上記の孔径は標準で有り、構造上支障が有る時はボルト径 + 3mmとする。またアンカーボルトの孔径は41φとする。

ボルトサイズ

[illegible]

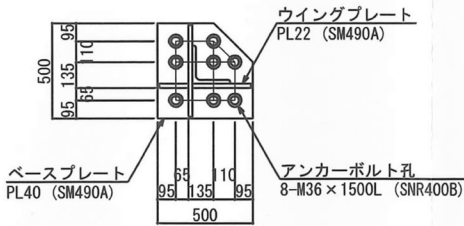
溶融亜鉛めっきの種類と付着量

通 用 種 別	規 格	種 類	記 号	付着量(g/㎡)
形鋼・鋼板類	JIS H 8641	2 種	HDZ 55	550以上
高力六角ボルト			HDZ 55	550以上
ボルト・ナット類			HDZ 35	350以上
アンカーボルト類			HDZ 35	350以上

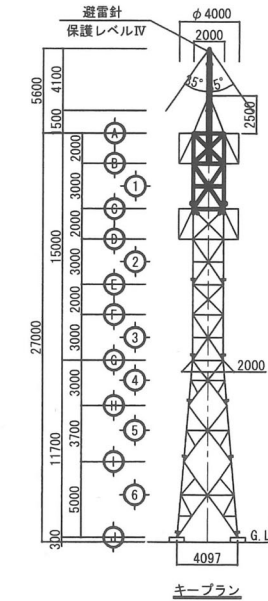
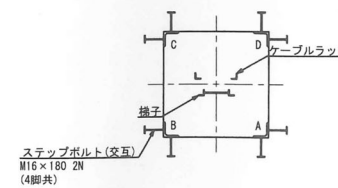
その他

- (1) 部材はゲージプレート以外全て溶融鋁めっきを施す。(アンカーは半めっき)
- (2) L50 高力ボルト (F8T) 使用箇所は g=28
- (3) 部材の詳細面中無記入ゲージは中心ゲージ (F/2) とする。
- (4) 部材の材質およびボルトの強度区分は使用鋼材の品質による。
- (5) 高力ボルト使用箇所は摩擦面処理(薬液処理)を施す。
- (6) 梯子の左側には堅落防止装置を付けける。
- (7) その他 製作基準は日本鉄塔協会による。
- (8) アンテナ支持柱は製作前に、取付位置、製作数を確認の事。

ベースプレート詳細図 S=1/20

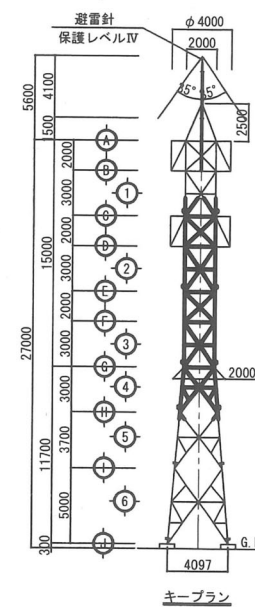
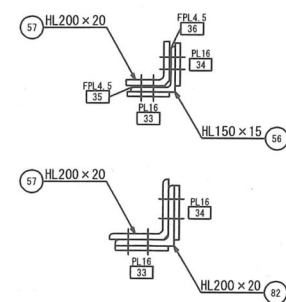
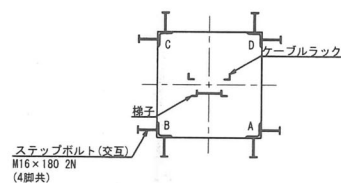


工事名称 防災行政無線三芳中継局解体工事		図面名称 鉄塔一般図		NO. A005	
 株式会社 高橋建築計画 TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163		一級建築士事務所 〒千葉県知事登録 一級建築士登録 第165910号		第1-2504-3060号 高橋光洋 SCALE A2: 1/142 A3: 1/200 DATE 2026. 3. 16	



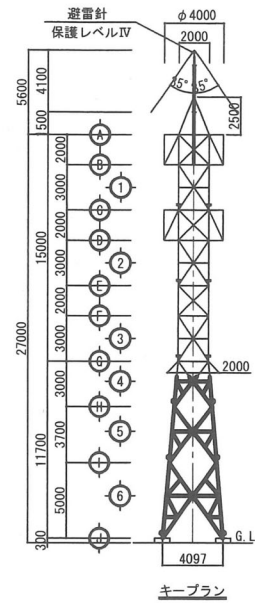
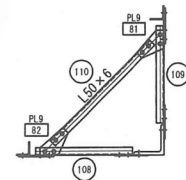
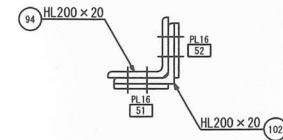
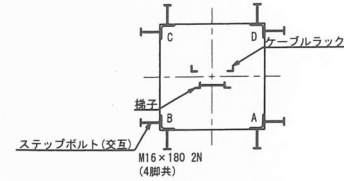
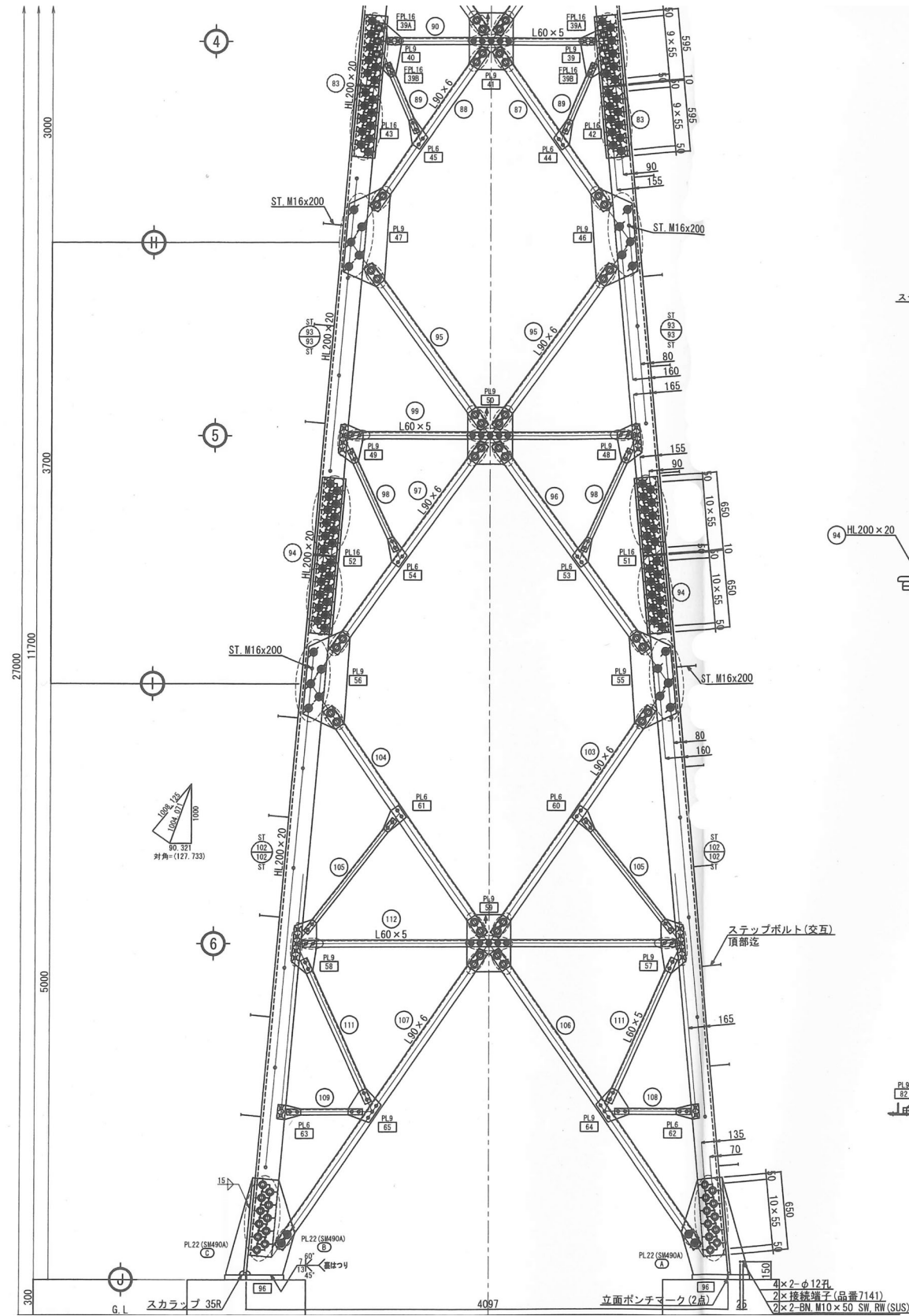
- | | |
|---|------------|
| 1) 無記入仕 | 150×4 |
| 2) 材 費 | |
| 1,100×10以下 | \$5400 |
| 1,179×8以上 | \$3540 |
| 鋼 管 | \$78400 |
| 3) 材料は全て、消費税附メッキを施す。 | |
| 資源税附 消費税附メッキ | JIS H 8641 |
| 高力ボルト・鋼材 | M275 |
| ボルト | M275 |
| 4) 主要部材(主材・部材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルトB78とし、
① 白で示し、平頭材・継手、継手、ラック等の取付ボルトは
N・S81とする。 | |
| 5) 主材材は、ベースプレートより頂部まで露出用ステップボルト
(φ450mm)を付ける。①、②、主材継手部は適用しない。 | |

ボルト図	長さ (mm)															
	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110
M12	●	+														
M16		●	●	●	●	●	×	+	+							
M20				●	●	●	●	×	×	×	×					
M24					●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×



機 要	
1) 無記入人材	150×4
2) 材 質	
L 100×10以下	SS400
H 120×8以下	SS400
鋼 管	STK400
3) 部品は全て、溶接専用メッキを施す。	
表面処理	溶接専用メッキ JIS H 8841
高力ボルト・鋼材	HD755
ボルト	HD735
4) 主要部材(主支柱・斜材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルト(伊訂)とし、 ○印で示す。平面材・縦梁・横子・ラック等の取付ボルトは N 802とす。	
5) 主支柱は、ベースプレートより頂部まで等間隔でステップボルト (φ450×間隔)を設ける。なお、主支柱横手板は共用しない。	

ボルト径	長さ (mm)															
	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110
M12	●	+														
M16		●	●	●	●	×	×	×	+	+						
M20				●	●	●	●	×	×	×	+	+				
M24						●	●	●	●	×	×	×	+	+	+	+



- 諸 要 求
- 1) 無記入材 L50 x 4
 - 2) 材 質
L 100 x 10以下 SS400
H 120 x 8以上 SS540
鋼 管 STW400
 - 3) 部材は全て、溶融亜鉛メッキを施す。
溶融亜鉛メッキ JIS H 8641
高力ボルト・鋼材 H4235
ボルト H4235
 - 4) 主要部材(主材材・部材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルト(FB7)とし、
()印で示し、平鋼材・角鋼・棒材・ラック等の取付ボルトは、
N.S.付とする。
 - 5) 主材材は、ベースプレートより頂部まで見掛けステップボルト
(約45mm間隔)を付ける。なお、主材材継手部は共用しない。

ボルト径	長 寸 (mm)															
	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110
M12	+	+														
M16																
M20																
M24																

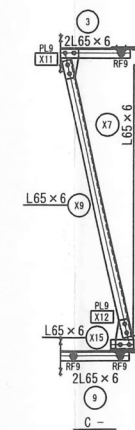
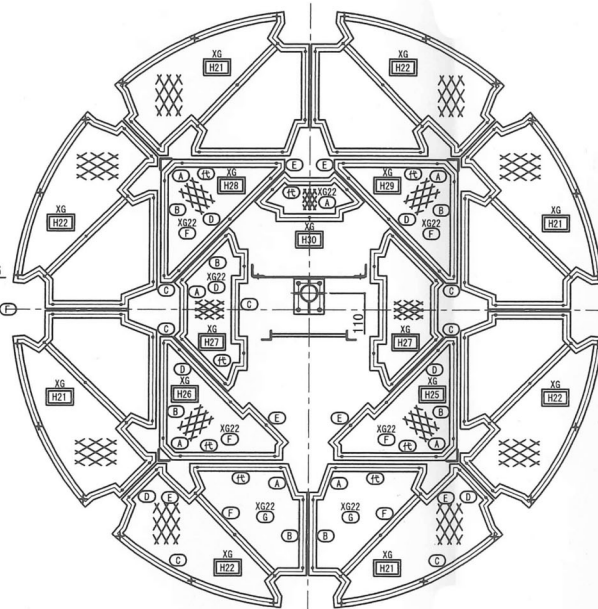
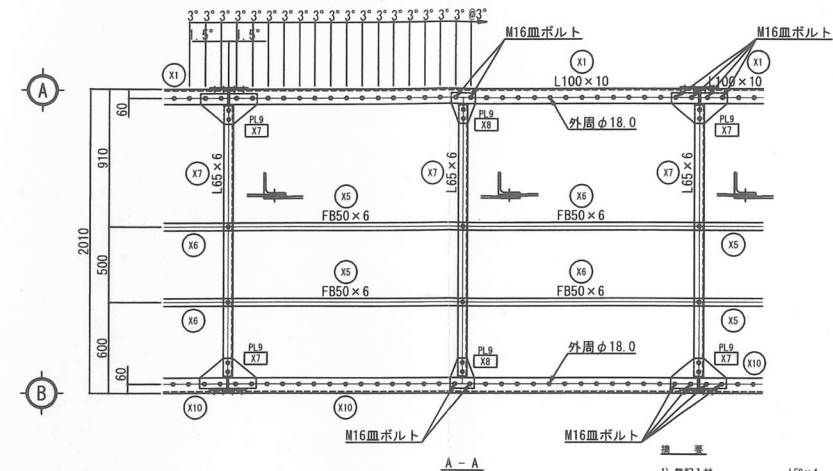
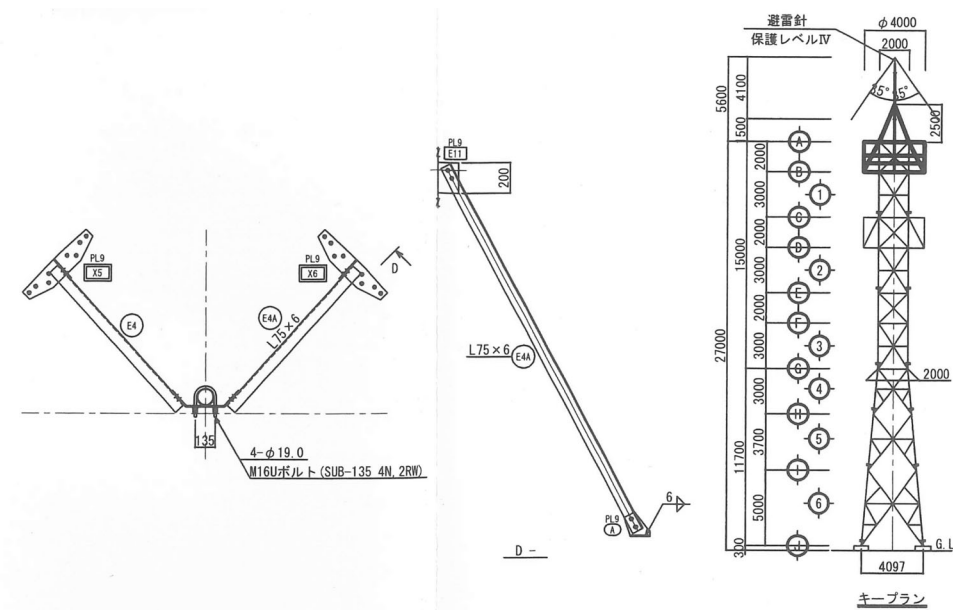
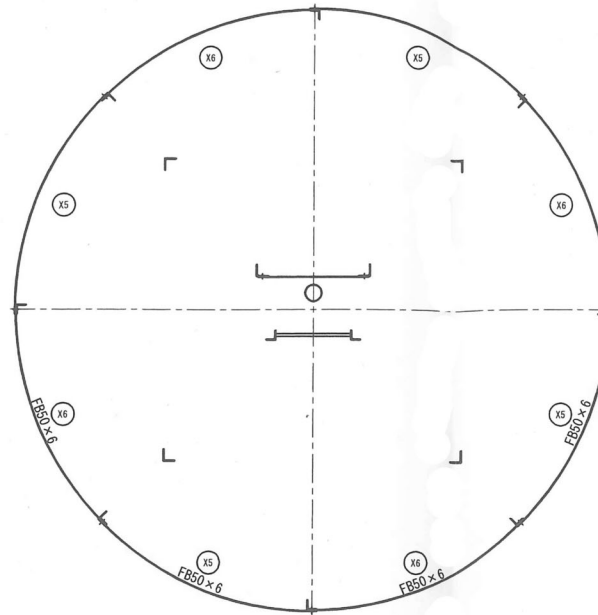
工事名称
防災行政無線三芳中継局解体工事


図面名称
鉄塔構造図 3

NO.
A008

TAP 株式会社 高橋建築計画
TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163

一級建築士事務所 第1-2504-3060号
千葉県知事登録
一級建築士登録 第165910号 高橋光洋
SCALE A2: 1/37 A3: 1/50
DATE 2026.3.16

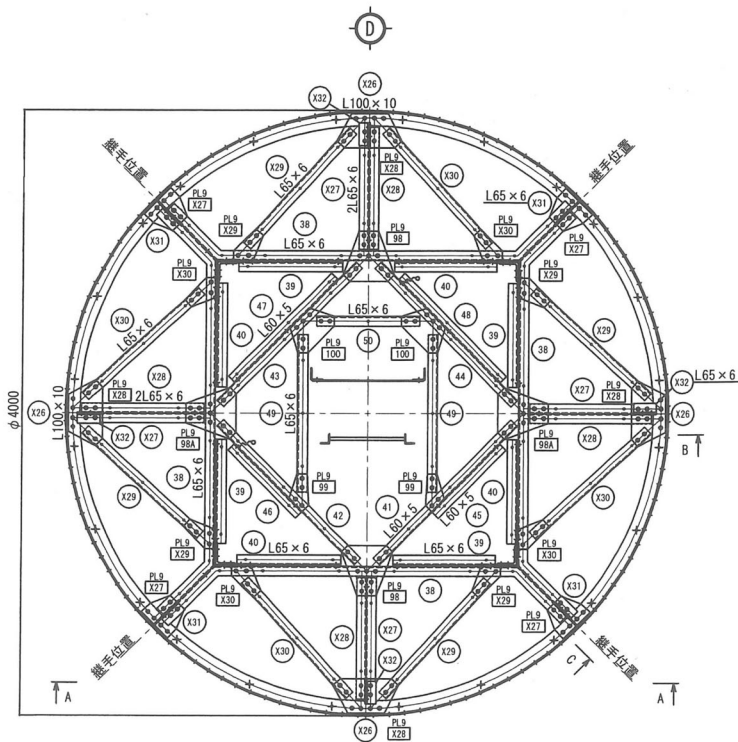
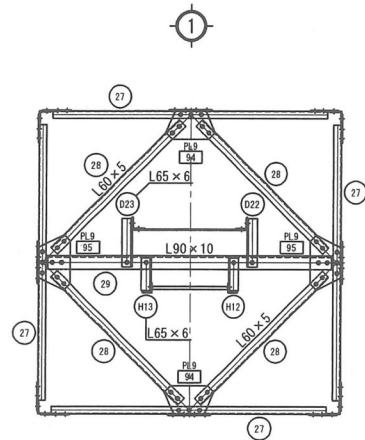


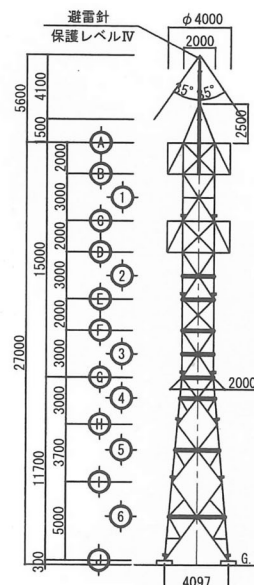
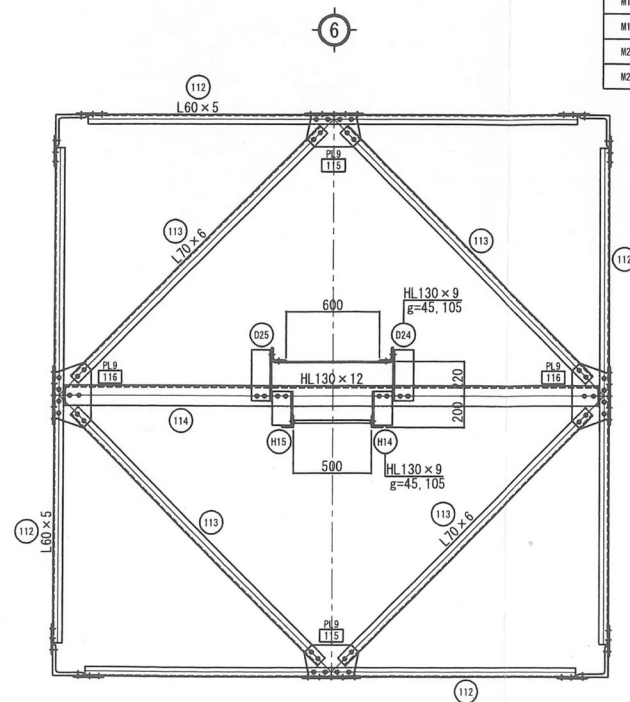
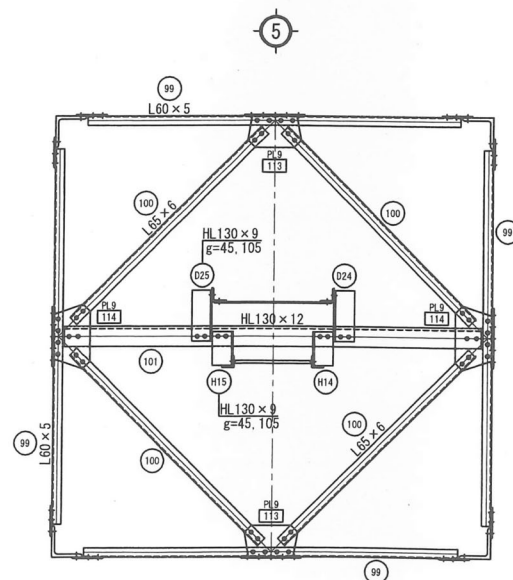
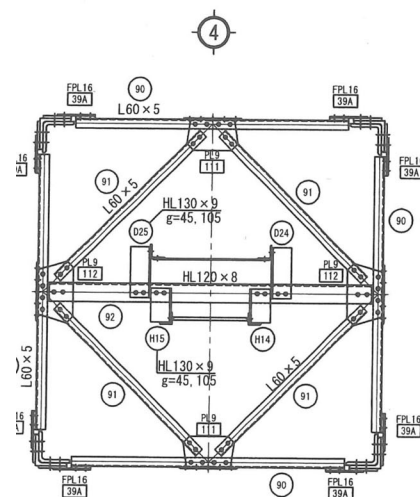
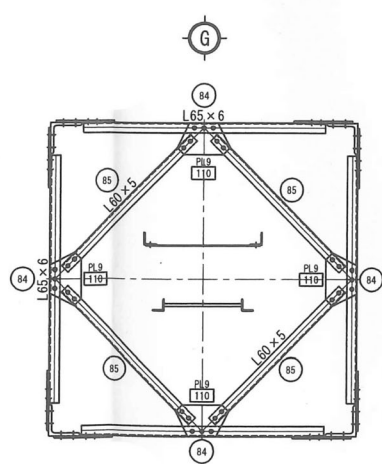
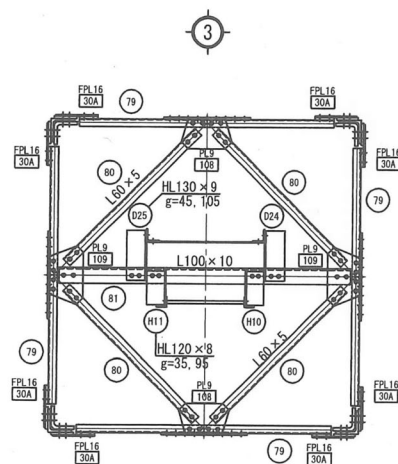
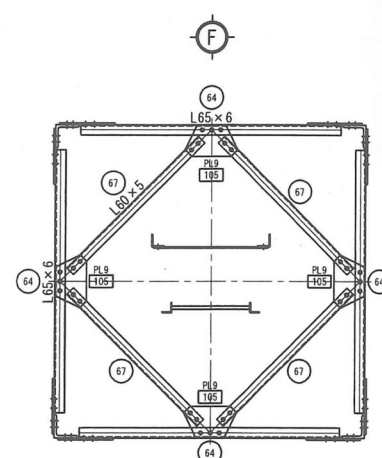
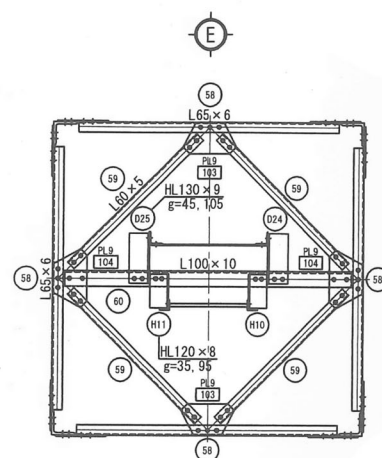
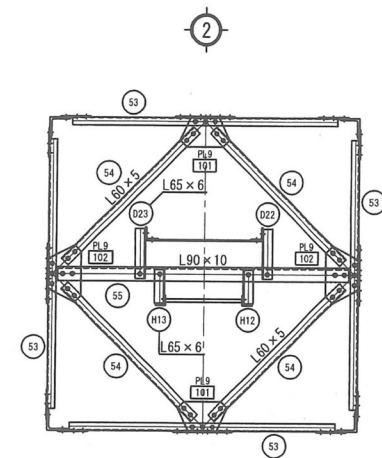
- | | |
|--|--------------------|
| 増 減 | |
| 1) 増記入材 | 150×4 |
| 2) 材 質 | |
| 1100×10以下 | \$5400 |
| 1120×8以上 | \$5540 |
| 鋼 管 | \$78400 |
| 3) 型材は全て、溶融鋳造メッキを施す。 | |
| 表面処理 | 溶融鋳造メッキ JIS H 8641 |
| 高力ボルト・鋼材 | H7255 |
| ボルト | H7235 |
| 4) 主翼梁(主桁材・斜材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルト(F8T)とし、
 前で示し、平頭材・継手・端子・ラック等の取付ボルトは
H 8641とする。 | |

ボルト径	長 寸 (mm)																	
	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110		
M12	+	+																
M16		○	⦿	●	⦿	⊗	⊗	⊗	+	+								
M20				●	⦿	●	⦿	⊗	⊗	⊗	+	+						
M24						●	⦿	●	⦿	⊗	⊗	⊗	+	+	+	+		

- 1) 無記入材 L50×4
 2) 材 質
 L100×10以下 S5400
 H 120×8以上 S5400
 鋼 管 STK400
 3) 部材は全て、溶融亜鉛メッキを施す。
 表面処理 溶融亜鉛メッキ JIS H 8641
 高力ボルト・鋼材 H4255
 ボルト H4235
 4) 主要部材(主材材・部材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルト(8T)とし、
 () 印で示し、予備材・継ぎ・ラック等の取付ボルトは
 N 印で示す。

ボルト径	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110
M12	+	+														
M16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
M20																
M24																





キープラン

- 補 要
- 1) 無記入材 L50×4
 - 2) 材 質
L100×10以下 SS400
HL120×8以上 SS540
鋼 管 STK400
 - 3) 部材は全て、溶融亜鉛メッキを施す。
表面処理 溶融亜鉛メッキ JIS H 8841
高力ボルト・鋼材 HD755
ボルト HD735
 - 4) 主桁部材(主材・斜材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルト(F8T)とし、
用で示し、平鋼材・隅鋼・棒子・ラック等の取付ボルトは
H 88付とする。
 - 5) 主材材は、ベースプレートより頂部まで最端用スリップボルト
(約450mm間隔)を設ける。なお、主材材端手前は非用しない。

ボルト径	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110
M12	+	+														
M16			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
M20					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
M24							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

工事名称
防災行政無線三芳中継局解体工事

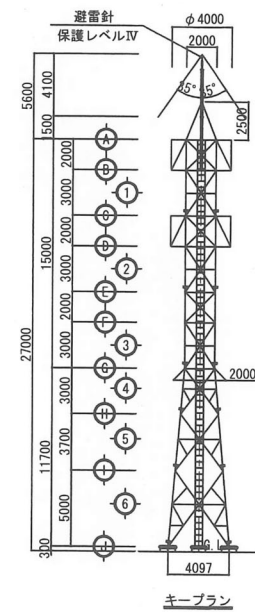
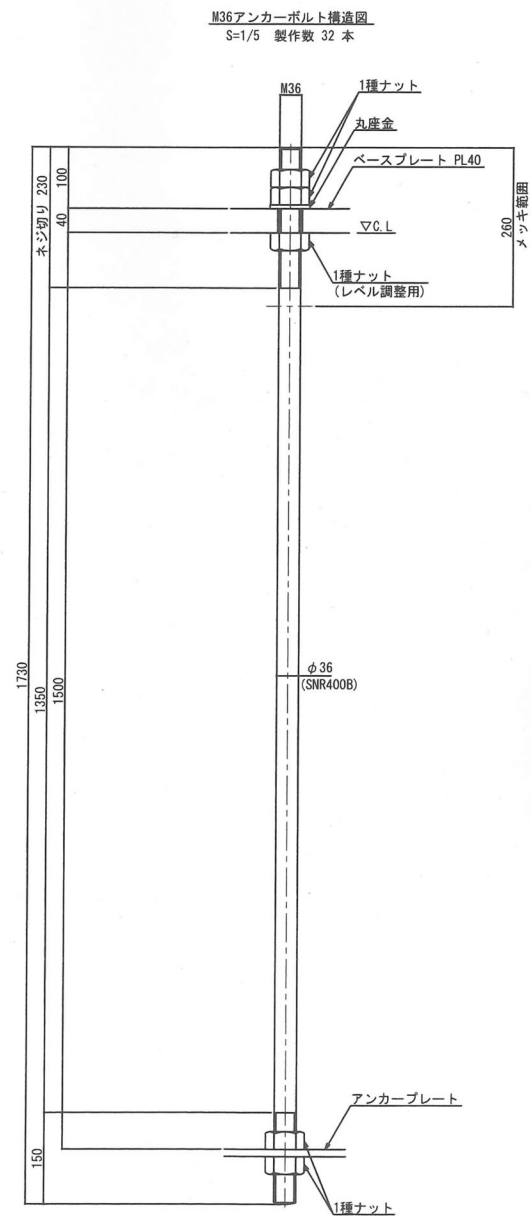
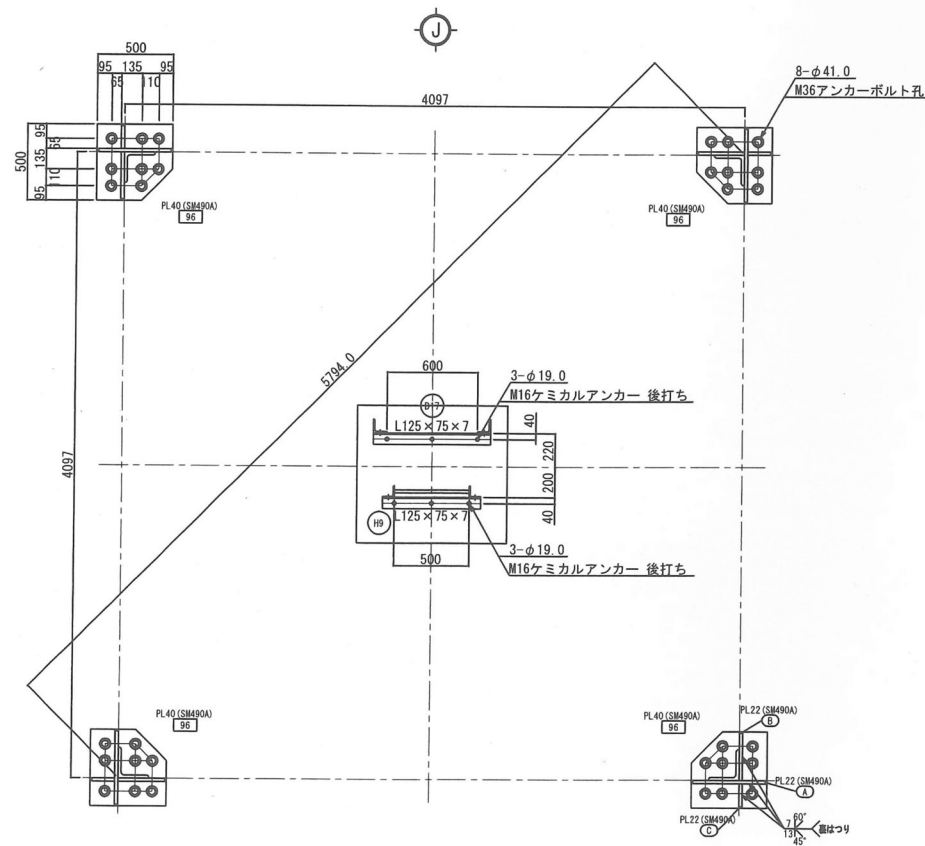
図面名称
鉄塔構造図 6

NO.
A011

TAP 株式会社 高橋建築計画
TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163

一級建築士事務所
千葉県知事登録 第1-2504-3060号
一級建築士登録
第165910号 高橋光洋

SCALE A2: 1/37 A3: 1/50
DATE 2026.3.16



アンカープレート詳細
S=1/10 製作数 4 枚

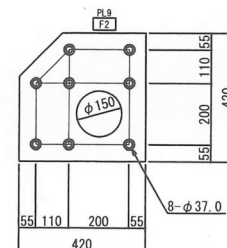


図 表

1) 材 質	
L100×10以下	S400
H120×8以上	S550
鋼 管	STK400
アンカーボルト	SNR400B
2) 部材は全て、溶融亜鉛メッキを施す。	
表面処理	溶融亜鉛メッキ JIS H 8641
高力ボルト・鋼材	H8255
ボルト	H8235
3) アンカーボルトは半メッキとする。	
4) アンカープレートは黒皮とする。	

工事名称
防災行政無線三芳中継局解体工事

図面名称
鉄塔構造図 7

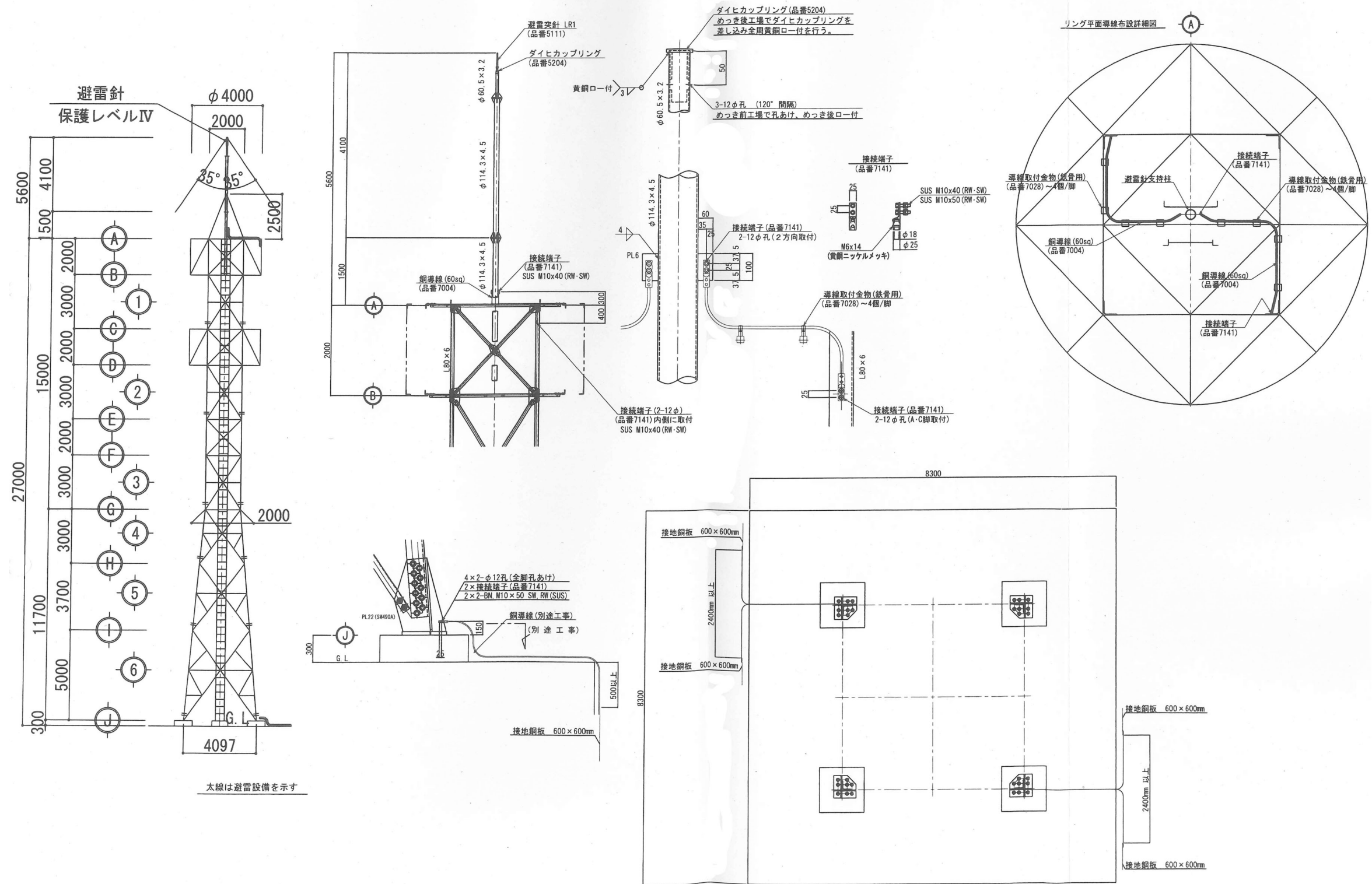
NO.
A012

TAP 株式会社 高橋建築計画
TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163

一級建築士事務所 第1-2504-3060号
千葉県知事登録
一級建築士登録 第165910号
高橋光洋
SCALE A2: 1/37 A3: 1/50
DATE 2026.3.16

避雷設備概要図

避雷設備はJIS A 4201-2003に従い、設置する。



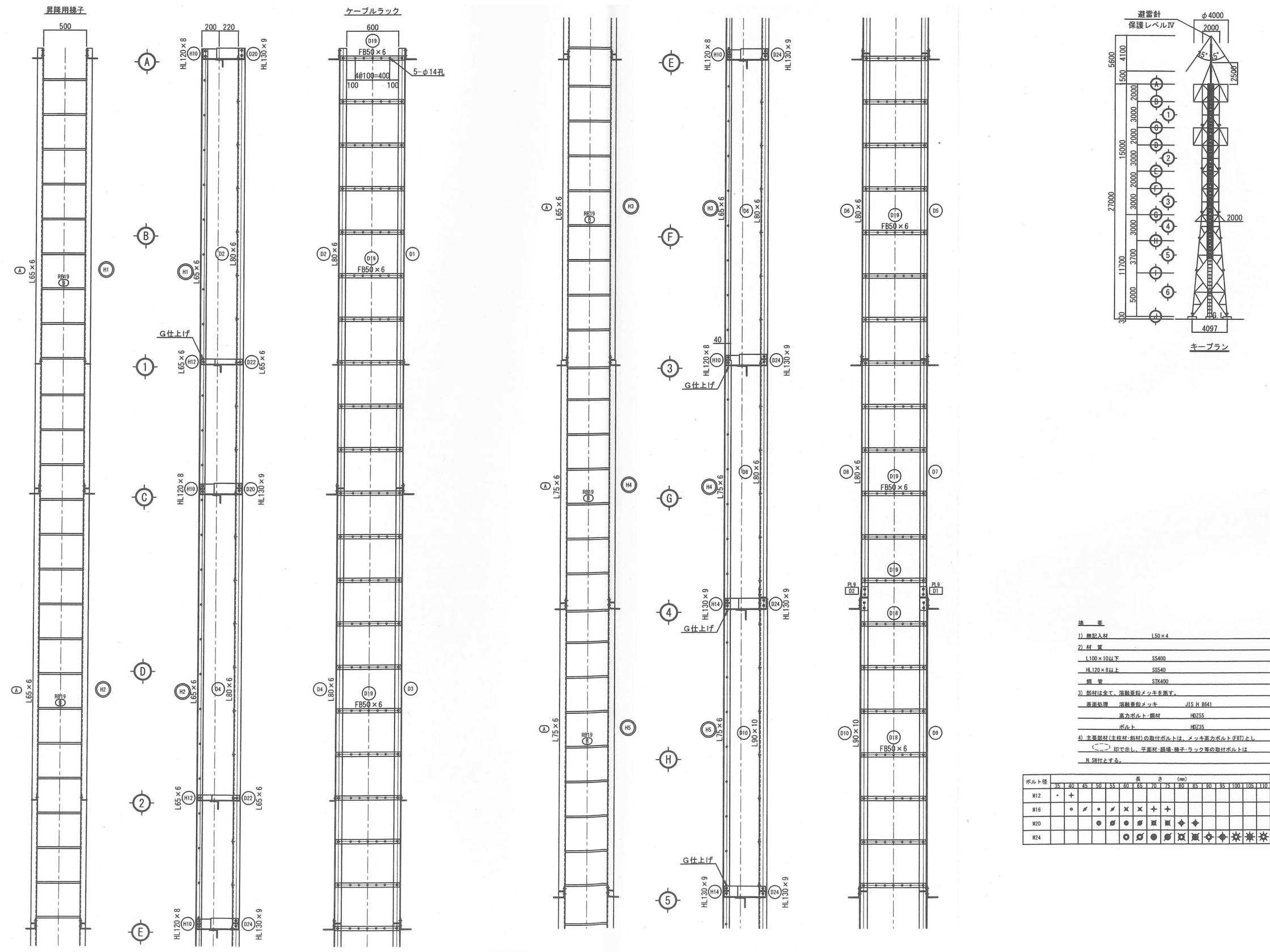
工事名称
防災行政無線三芳中継局解体工事

図面名称
避雷設備詳細図

NO.
A013

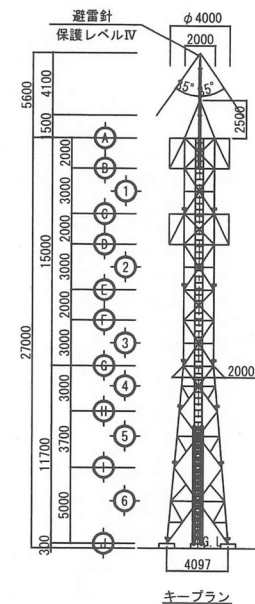
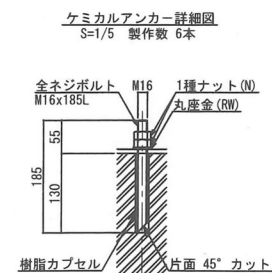
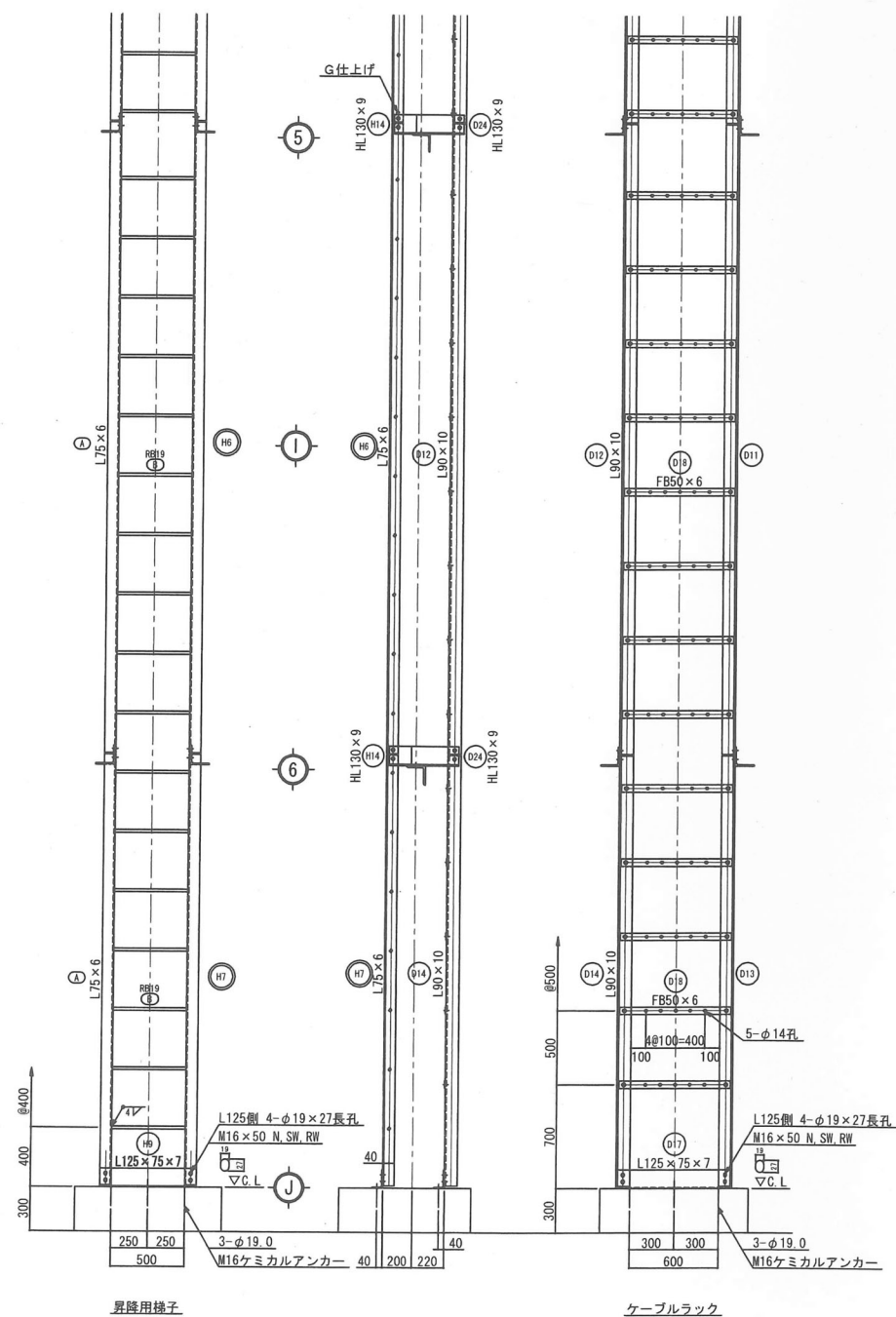
TAP 株式会社 高橋建築計画
TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163

一級建築士事務所
千葉県知事登録 第1-2504-3060号
一級建築士登録 高橋光洋
第165910号
SCALE A2: 1/71 A3: 1/100
DATE 2026.3.16



- 補 註
- 1) 鋼材入材 L50×4
 - 2) 材 質
L100×10以下 SS400
H 120×8以上 SS400
鋼 管 STK400
 - 3) 部材は全て、溶融亜鉛メッキを施す。
表面処理 溶融亜鉛メッキ JIS H 8641
高力ボルト・鋼材 H0755
 - 4) 主鋼材(牛材・角材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルト(F8T)とし、
印で示し、平面材・継手・梯子・ラック等の取付ボルトは
N 鋼けとする。

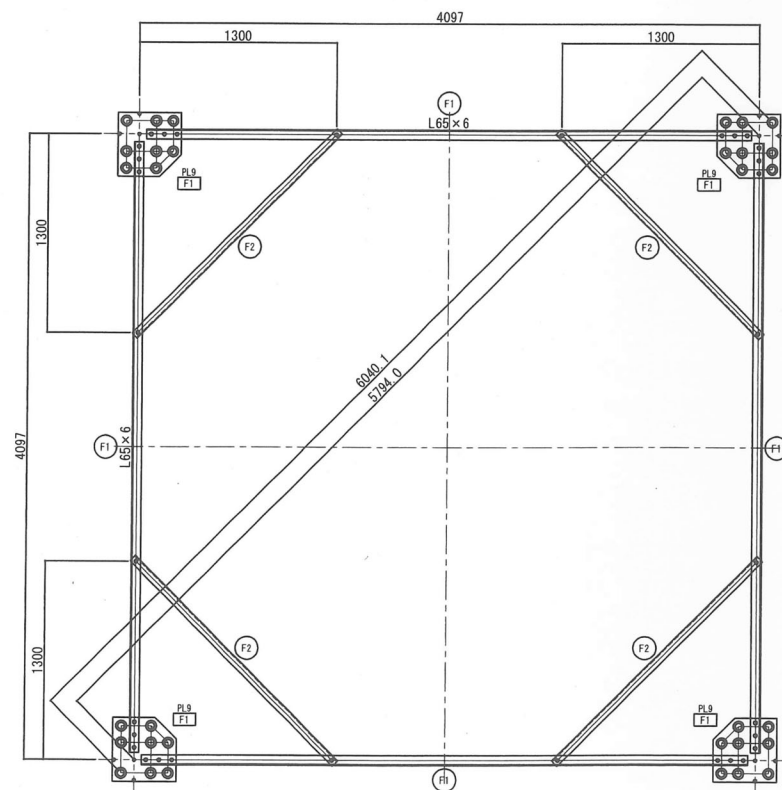
ボルト径	長 寸 (mm)															
	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110
M12	+	+														
M16	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
M20				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
M24						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



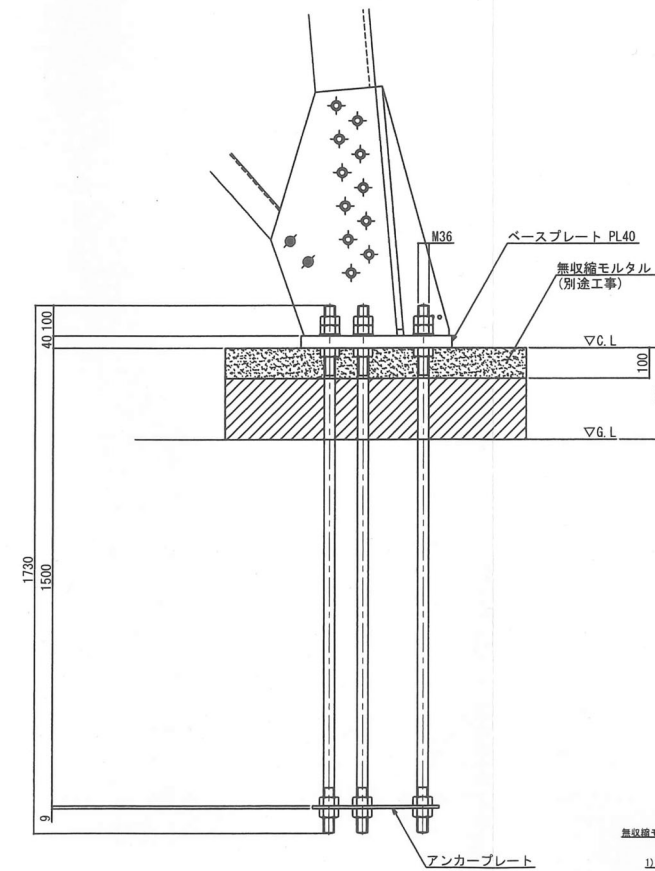
- 構 造 要 求
- 1) 無記入材 L50x4
 - 2) 材 質
L100x10以下 SS400
H120x8以下 SS540
鋼 管 STK400
 - 3) 部材は全て、溶融亜鉛メッキを施す。
表面処理 溶融亜鉛メッキ JIS H 8541
高力ボルト・鋼材 H0755
ボルト H0735
 - 4) 主要部材(主柱材・組材)の取付ボルトは、メッキ高力ボルト(F87)とし、
印で示し、平鋼材・縦梁・横子・ラック等の取付ボルトは
N 鋼付とする。

ボルト径	長 寸 (mm)															
	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110
M12	+	+														
M16	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
M20				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
M24						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

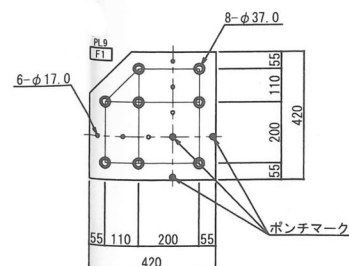
アンカーゲージ組立図



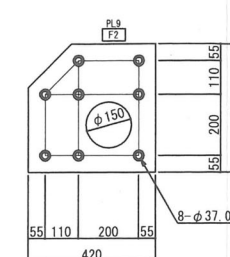
アンカーボルト据付図
S=1/10



ゲージプレート詳細
S=1/10



アンカープレート詳細
S=1/10 製作数 4 枚



無収縮モルタル注入要領

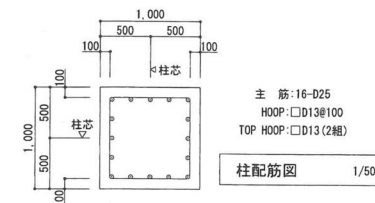
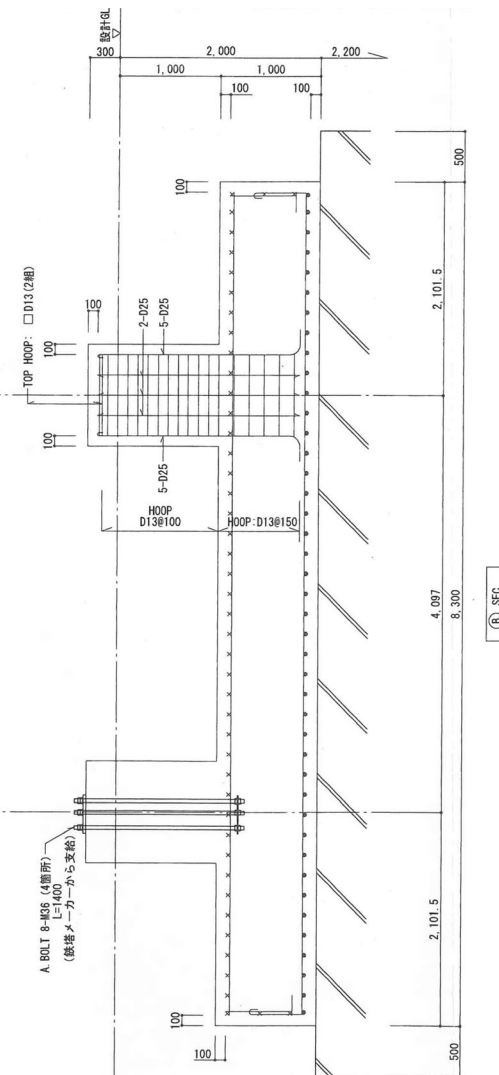
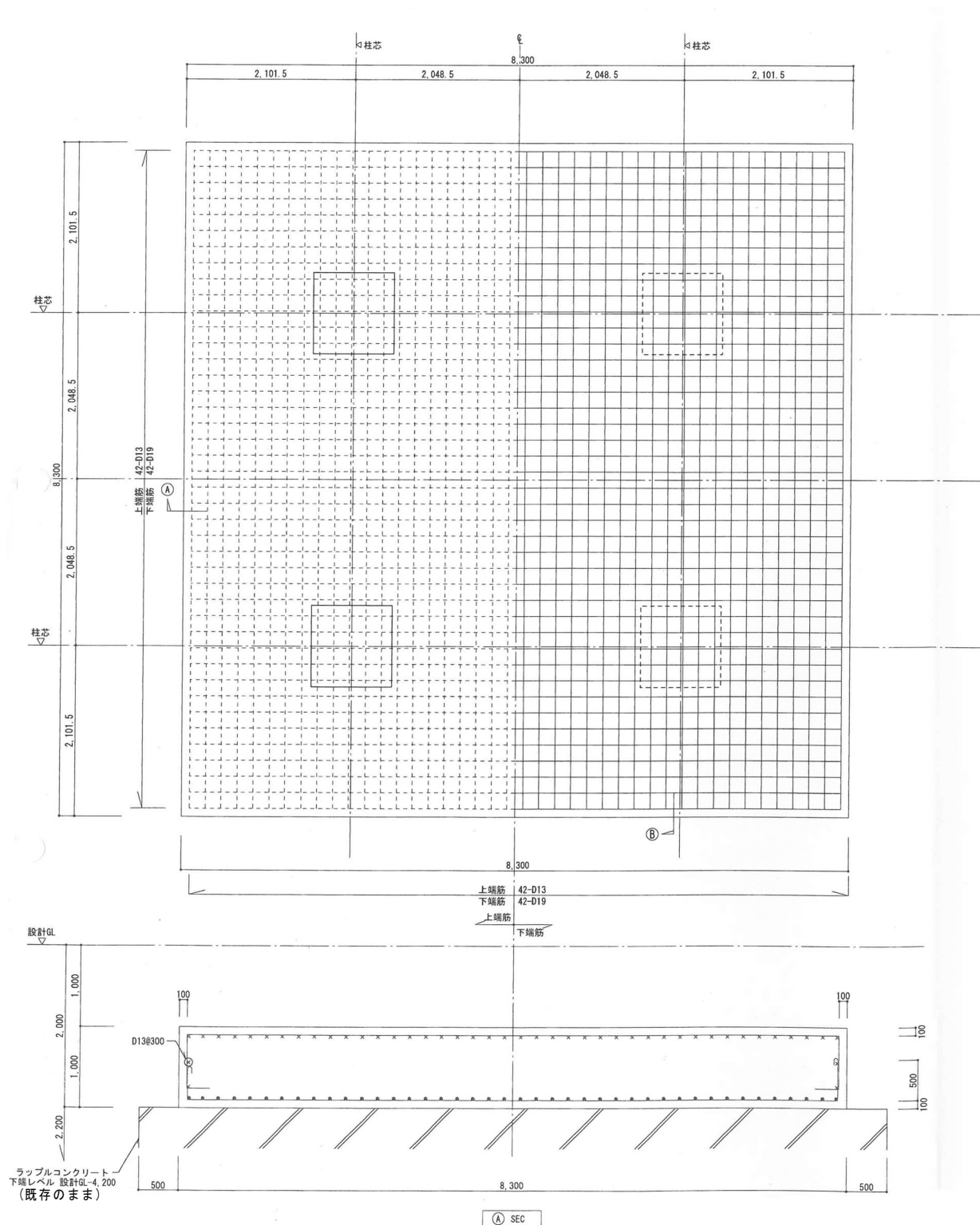
- 1) 基礎コンクリートは 基礎天端より下方 約100迄とする。
- 2) 無収縮モルタルは鉄塔ベースプレート据付後
(アンカーボルト締付後) 無収縮モルタルを注入する。

摘要

- 1) ゲージプレート及び枠材は全て黒皮とする。
 - 2) 特記なき部材ゲージは中心ゲージ
 - 3) 部材は全て SS400材
 - 4) ゲージ枠組立ボルト
- BN M16×40 φ17.0

アンカーボルト据付精度

- 1) アンカーボルト天壁レベル ——— 3.0 mm 以内
- 2) 基礎天壁レベル ——— ± 2.0 mm 以内
- 3) アンカーボルトの取れ ——— 2.0 mm 以内
- 4) 鉄塔スタンス ——— ± 2.0 mm 以内 (アンカーゲージ据付精度)
- 5) 鉄塔対角 ——— ± 3.0 mm 以内 (アンカーゲージ据付精度)



鉄塔基礎配筋図 1/60

特記なき限り下記による。

- コンクリート
設計基準強度 フーチング $F_c=24N/mm^2$ 以上
捨てコンクリート $F_c=18N/mm^2$ 以上
- 鉄筋の種類: SD345
- 地上露出部分は、面取りを実施する(20mm)。
- アンカーボルト仕様
架台用アンカーボルト(メッキ処理ケミカルアンカー-H16)
- 本工事の仕様はすべて国土交通省大臣官庁官庁常務部監修
「建築工事共通仕様書(平成13年度版)」による。

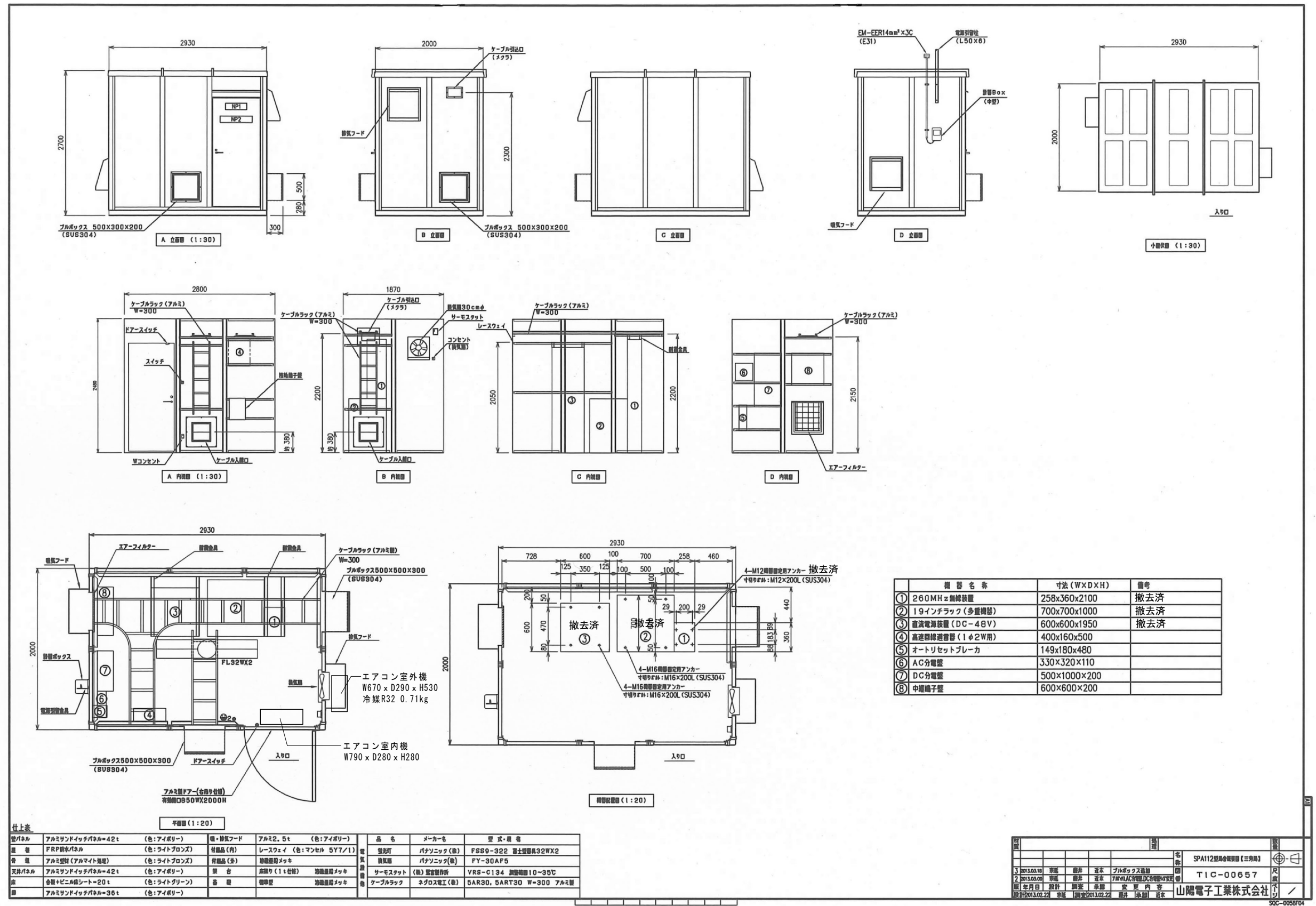
工事名称
防災行政無線三芳中継局解体工事

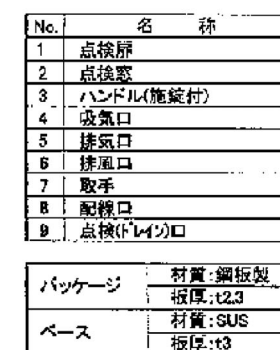
図面名称
鉄塔基礎詳細図

NO.
A017

TAP 株式会社 高橋建築計画
TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163

一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2504-3060号	SCALE A2: 1/53 A3: 1/75
一級建築士登録 第165910号 高橋光洋	DATE 2026.3.16



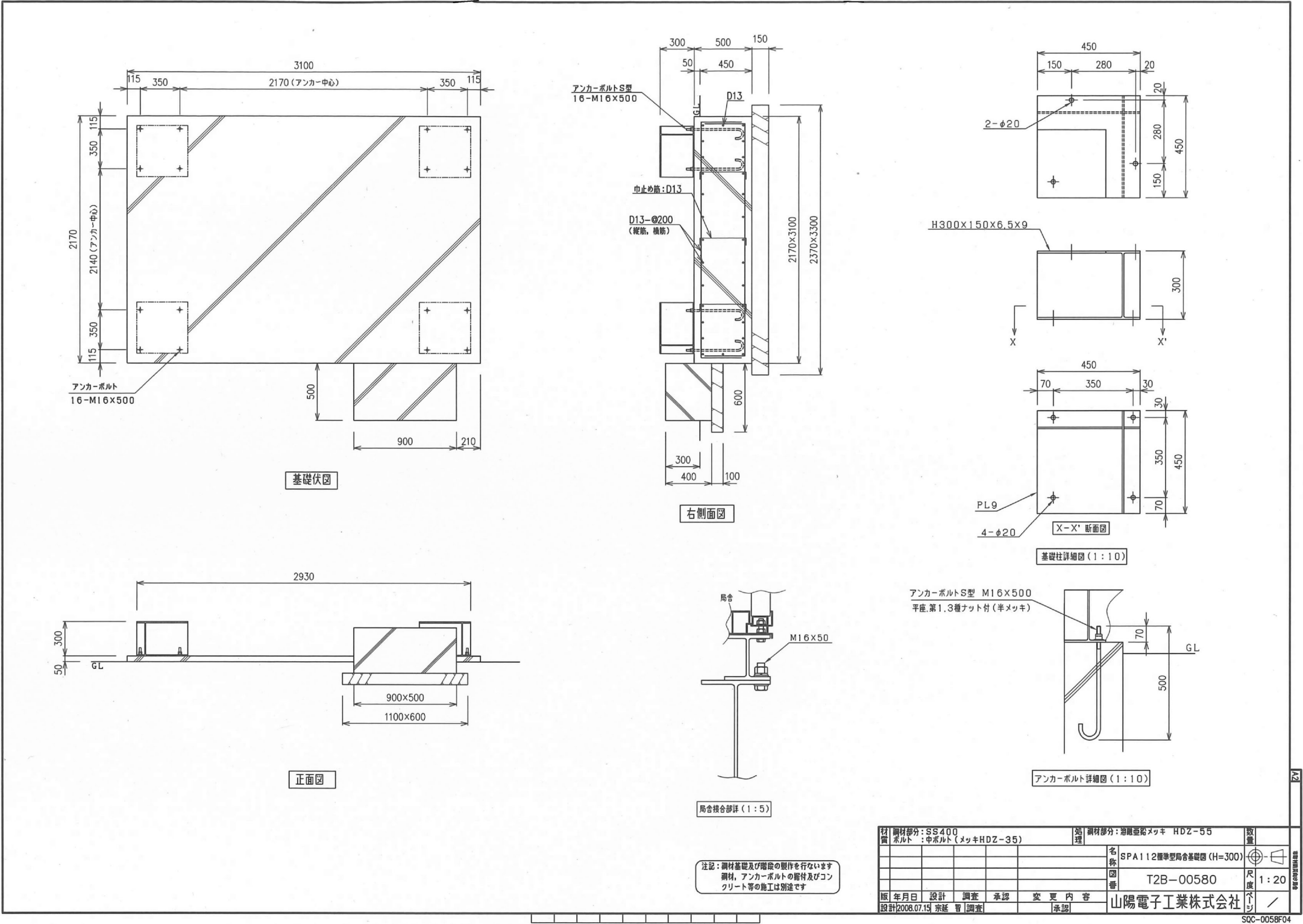


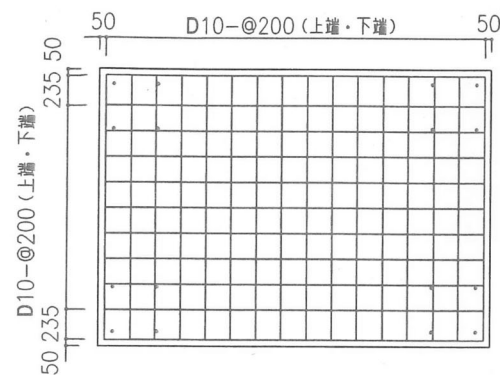
形	式	TQGP6KA	
同期発電機			
定格出力		5	kVA
定格電圧		100	V
定格電流		50	A
定格周波数		50	Hz
定格回転速度		3000	min ⁻¹
極数		2	P
相数		1 φ	2 W
力率		1.0	
励磁方式		ブラシレス励磁	
耐熱クラス		電機子 F	界磁 F
保護、冷却方式		保護 (IP20)	冷却 (IC01)
-	-	-	-

		原 動 機	
製 造 者		株式会社 クボタ	
名 称		Z482	
形 式		立型水冷4サイクル	
定 格 出 力		7 kW {	9.5 PS
定 格 回 転 速 度		3000 min ⁻¹	
平 均 有 効 圧 力		0.58 MPa	
総 行 程 容 積		0.479 L	
冷 却 方 式		ラジエータ冷却方式	
ラジエータ排風量		17.8 m ³ /min	
燃 料 室 形 状		渦流室式	
燃 料 油		軽油	
燃 料 消 費 量		2.07 L/h	
燃 料 タ ン ク		70 L	
潤 滑 油 量		3.2 L	
潤 滑 方 式		強制循環式	
セ ル モ ー タ	DC	12 V	1 kW

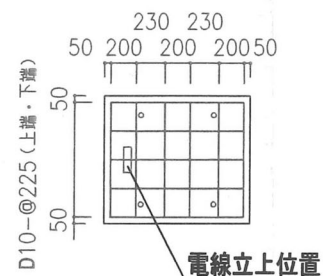
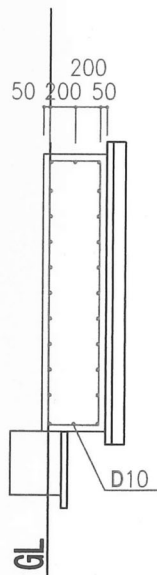
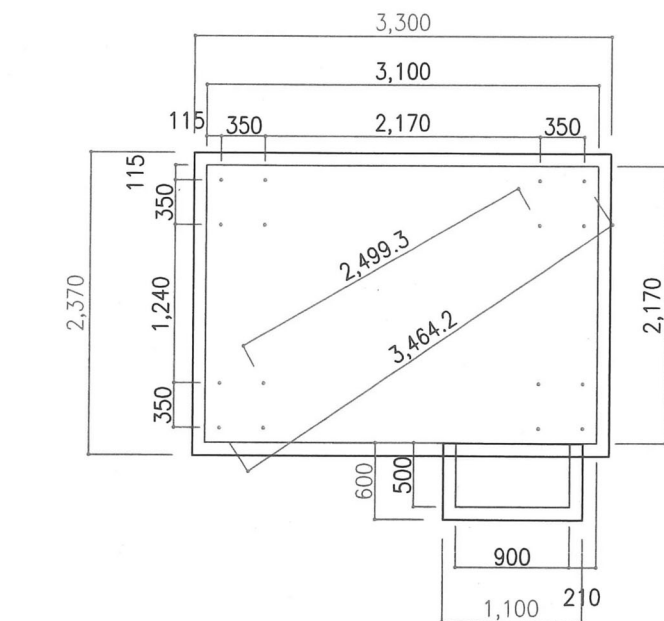
蓄電池（容量）		REH	（ 24 Ah
塗 装 色		5 Y 7 / 1(半ツヤ)	

乾燥質量 約525kg
整備質量 約595kg
騒音値機側1m平均74dB

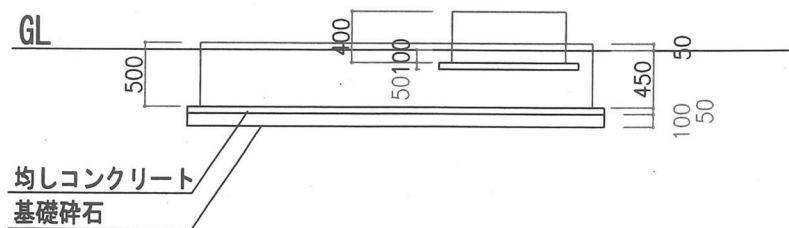
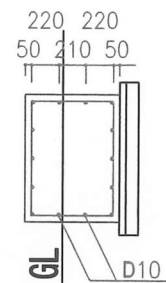
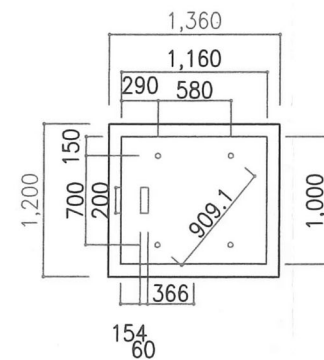




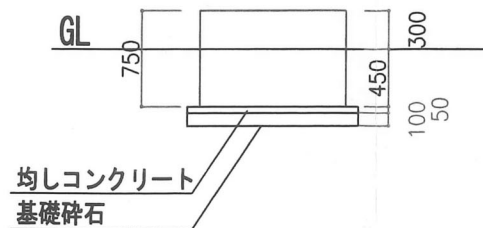
アンカーボルト : M16-16-L500 埋込長=430mm
(局舎メーカー支給品)
コンクリート強度 : 18N/mm²
基礎砕石 : RC40-0
鉄筋強度 : SD295A (D10)
※コンクリート地上露出部は面取りを行う。



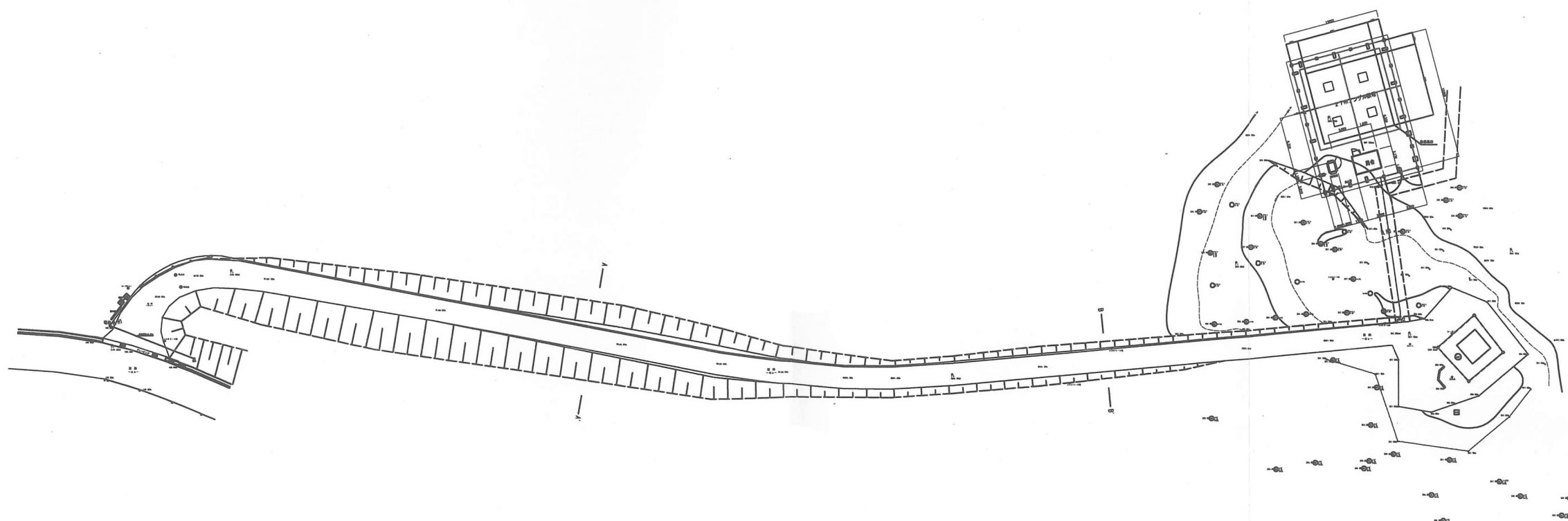
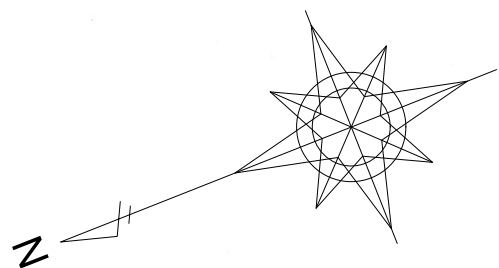
アンカーボルト : M16-4-L180 埋込長=130mm
(樹脂接着系アンカー)
コンクリート強度 : 18N/mm²
基礎砕石 : RC40-0
鉄筋強度 : SD295A (D10)
※コンクリート地上露出部は面取りを行う。



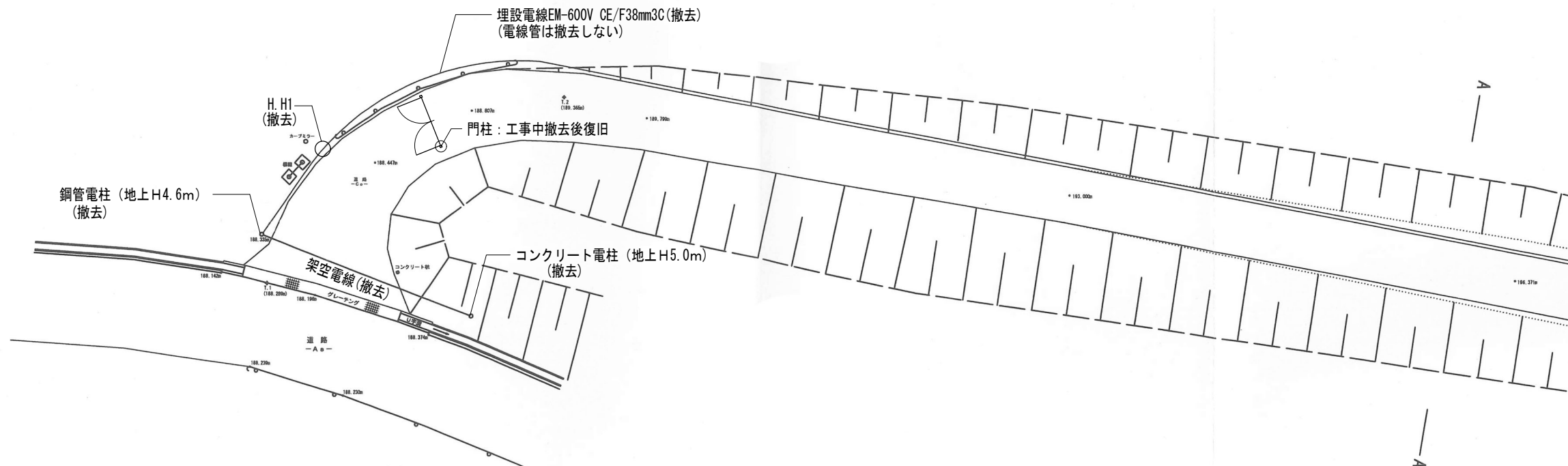
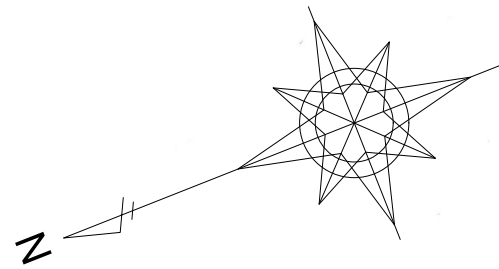
局舎基礎図



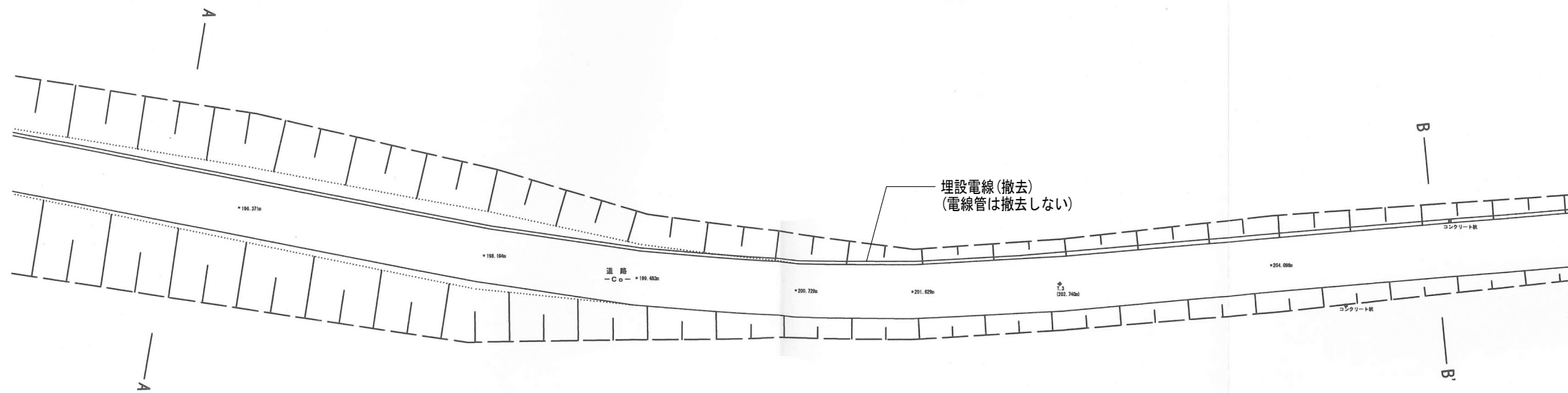
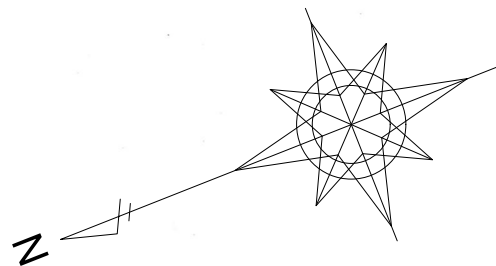
発電機基礎図



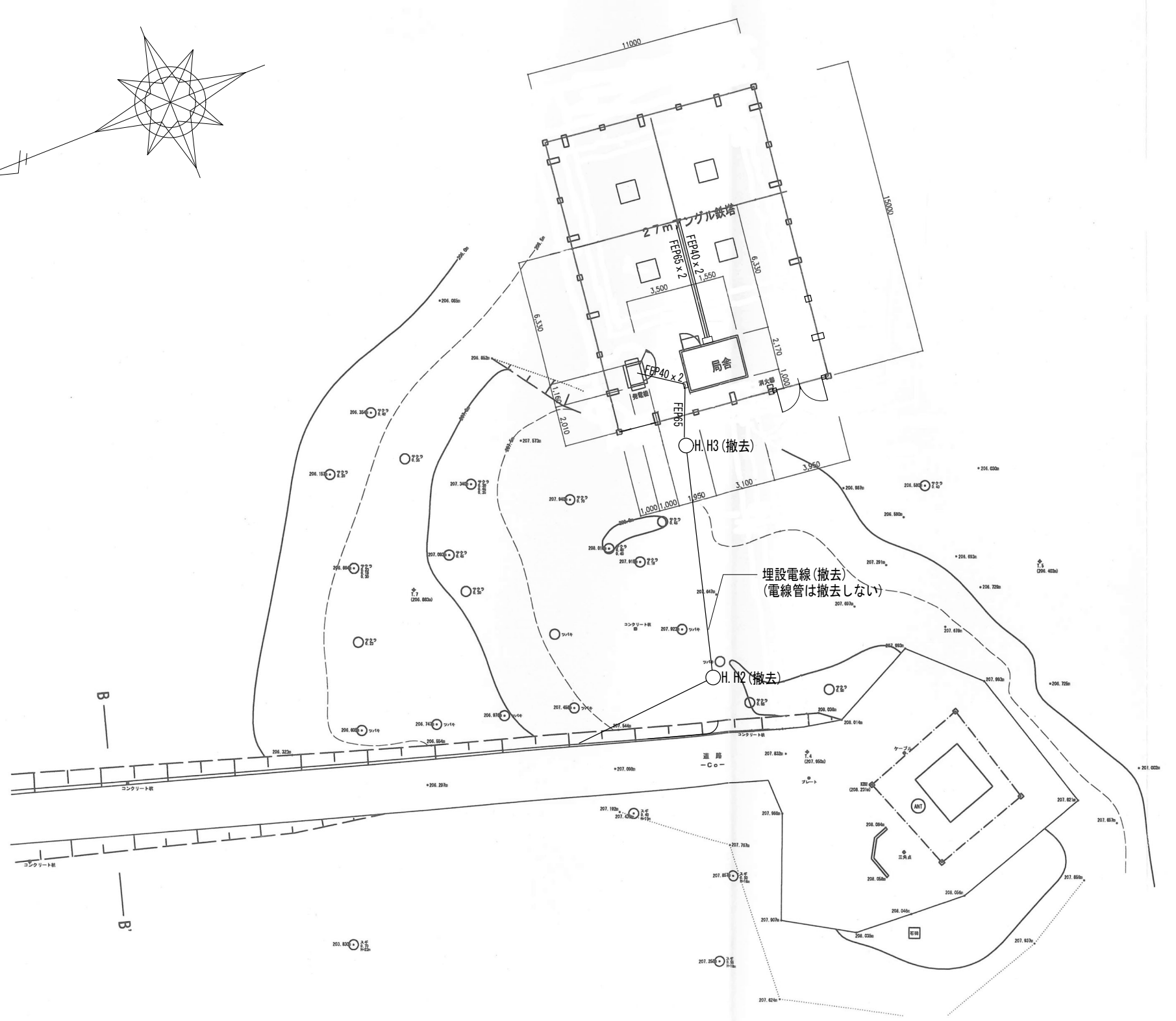
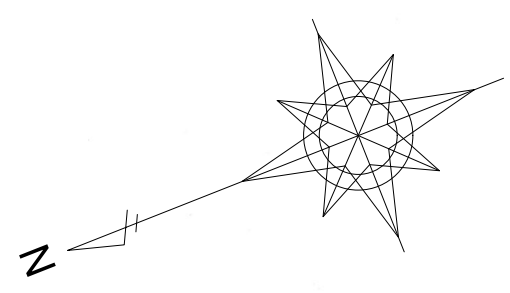
工事名称 防災行政無線三芳中継局解体工事		図面名称 電気ケーブルルート図（全体）		NO. A022
TAP 株式会社 高橋建築計画 TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163		一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2504-3060号	SCALE A2: 1/426 A3: 1/600	
		一級建築士登録 第165910号 高橋光洋	DATE 2026.3.16	

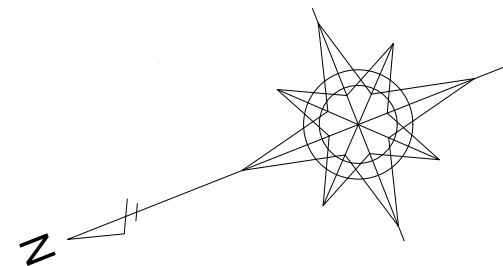


工事名称 防災行政無線三芳中継局解体工事	図面名称 電気ケーブルルート図 1	NO. A023
TAP 株式会社 高橋建築計画 TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163	一級建築士事務所 第1-2504-3060号	SCALE A2: 1/178 A3: 1/250
	千葉県知事登録 一級建築士登録 高橋光洋 第165910号	DATE 2026.3.16



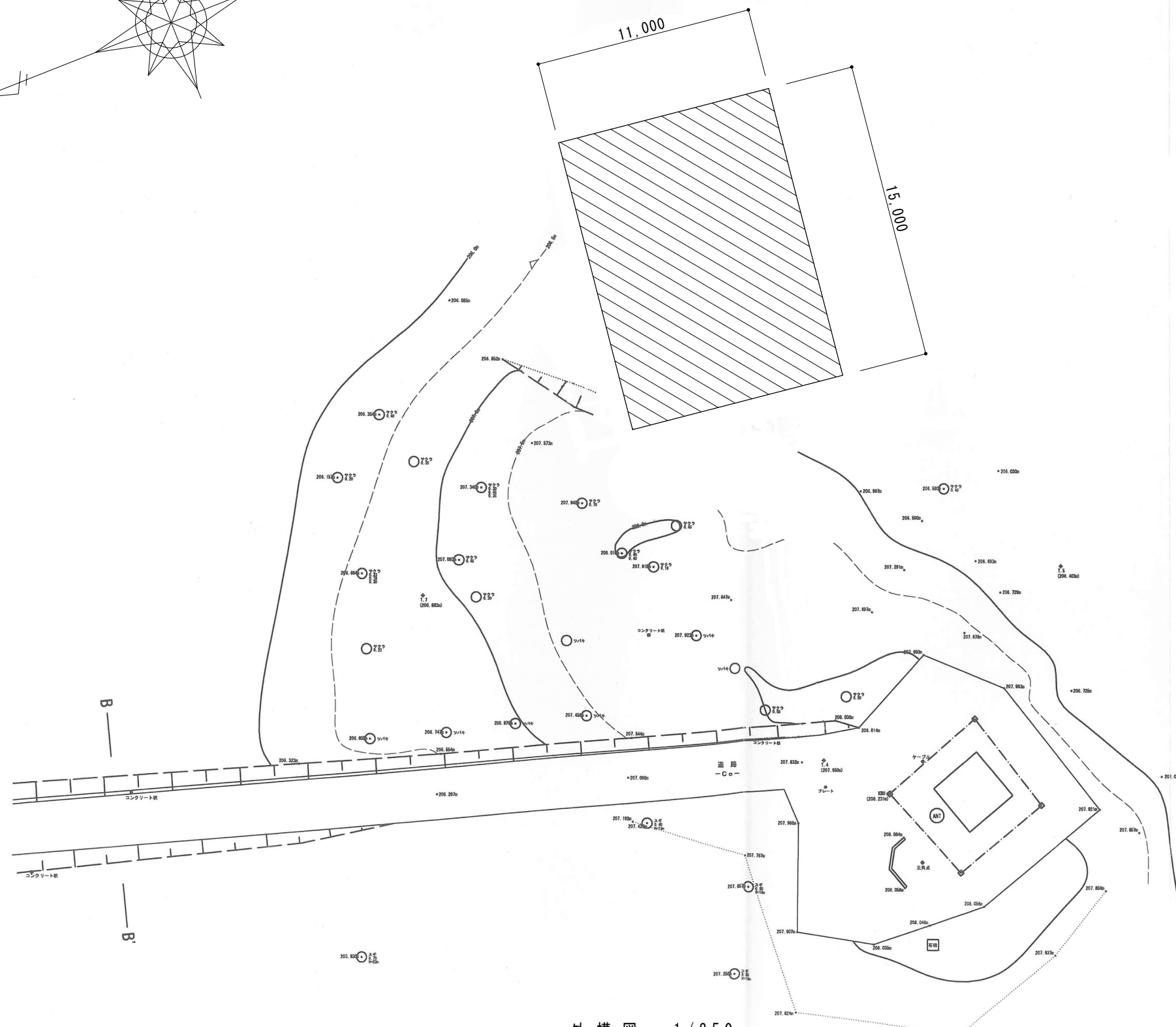
工事名称 防災行政無線三芳中継局解体工事	図面名称 電気ケーブルルート図 2	NO. A024
T.A.P 株式会社 高橋建築計画 TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163	一級建築士事務所 第1-2504-3060号	SCALE A2: 1/178 A3: 1/250
	一級建築士登録 第165910号 高橋光洋	DATE 2026.3.16





— 碎石舗装 (RC40)

路盤: 再生クラッシャーラン RC-40 厚100
路床整正の上路盤材締固め



外構図 1/250

工事名称
防災行政無線三芳中継局解体工事

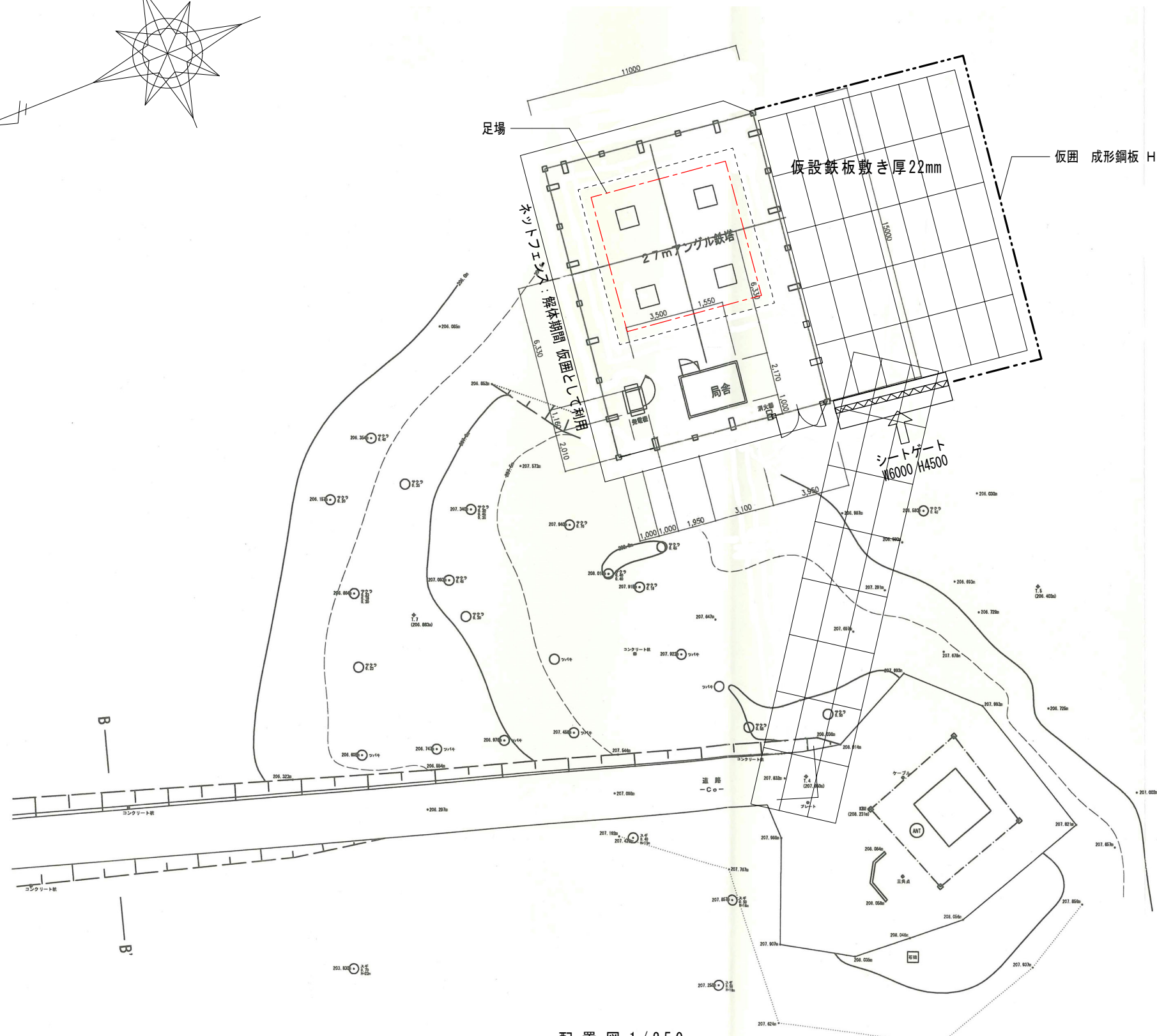
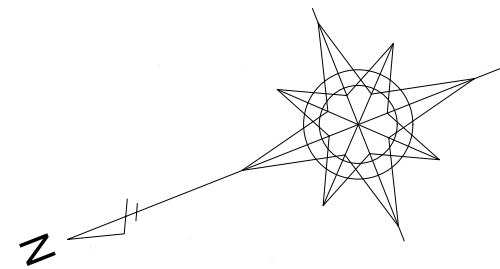
図面名称
外構図

NO.
A026

TAP 株式会社 高橋建築計画
TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163

一級建築士事務所 第1-2504-3060号
千葉県知事登録
一級建築士登録 高橋光洋
第165910号

SCALE A2: 1/178 A3: 1/250
DATE 2026.3.16



配置図 1/250

工事名称 防災行政無線三芳中継局解体工事	図面名称 仮設参考図（配置図）	NO. A027
TAP 株式会社 高橋建築計画 TEL 0470-20-6162 FAX 0470-20-6163	一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-2504-3060号 一級建築士登録 高橋光洋 第165910号	SCALE A2: 1/178 A3: 1/250 DATE 2026.3.16

